京城日報
(年中無休刊)
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號長六千九番

九月二十二日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

條約受領と猶豫

勃牙利委員は佛國外務省にて何等の儀式を用ゐず聯合國委員より講和條約を受取りたるが右回答の爲め二十五日間の猶豫期間を與へられたり（巴里電報）

レニンの傲語

日米資本家の破壞を計畫せん

レニンは米國某新聞社員の質問に答へて曰く「余は一身を賭して米國及び日本に於ける資本家の破壞を計畫すべく而して共產主義を以て此の兩國を席卷せんことを期す」云々（莫斯科電報）

米鐵工同盟罷業

三日間に亘り米全國鐵工業從業員廿五萬人の同盟罷工行はるべく右に就きコンバース氏は電力調停せるも失敗に歸せり（紐育電報）

印度爲替制限撤廢

印度省は一千九百十七年一月以來その印度向爲替の賣り出しを一定の商社商店に限りたるも制限を撤廢し今後每週火曜日從前の如く競賣の方法により何人にも賣出すべき旨當月二十三日より實行同日賣出高一千萬ルピーを十八日發表せり但し賣出しの都度最低競賣相場賣出當日は早朝英蘭銀行にて其都度々定むる事及び一人の申込額を賣出金額の二十パーセント以內に限定する事等は千九百十七年以前の方法と異なる所とす（倫敦電報）

日支軍事協約繼續

日支軍事協約は段祺瑞氏の主唱に依り西伯利の騷亂鎭定する迄は之を繼續することに決定せり（北京電報）

王上海著と注目

北方和議總代表王揖唐氏は二十日朝八時半南京より上海に到著せるが南方の反對盛んなるにも拘らず上海に乘込來るに就ては大に注目に値す（上海電報）

獨駐日大使決定

伯林よりの報道に依れば獨逸駐日大使は嘗て日本駐在領事たりしフリッツ、チール氏に決定し其他米英支各駐在大使も決定せりと（紐育電報）

朝鮮新設部隊

大正九年度に全部完成

朝鮮第十九師團中新設部隊は歩兵第三十八旅團第二十師團に在りては特科隊（騎兵一個中隊野砲兵二個中隊工兵一個中隊輜重一個中隊）にして全部の完成は大正十年の豫定なるも當局にては之を一箇年繰上げ大正九年度に於て全部完成せしむべく九十師團に於て年度に取消すべき豫算を大正九年度に繰替支出の件を來議會に提出する由なるが兩師團とも輜重兵大隊は當分設置せざる方針なりと（東京特電）

賞與金課稅

現行所得稅法は會社の配當金及賞與金には課稅せざる明文あるも爲に課稅の均衡を失する嫌あるに鑑み大藏當局にては賞與金にも課稅す可く內定せりと（東京特電）

高野博士辭退

桝本氏に交渉

高野博士は勞働代表たることを辭退せるを以て政府は第三回候補者桝本卯平氏に交渉を開始せり（東京特電）

酒井伯卒去

正四位伯爵酒井忠興氏は廿一日卒去せり享年四十有三（東京特電）

傭船料弱含

山下汽船會社の調査によれば今週の傭船料氣配は一般に低落歩調をとりつゝありし左の如し（東京電報）

若松九州卅錢▲近海九圓▲遠洋十二圓五十錢▲世界十五圓

日銀帳尻

九月十九日の日本銀行帳尻左の如し（東京電報）

發行高	一〇〇八、〇五五
正貨準備	七七一、一七六
限外發行	一一六、八七八
貸出高	三四四、九一六

佐藤總領事通過

佐藤哈爾賓總領事は家族同伴二十二日午前七時十分安東驛通過東上せり（安東縣特電）

東宮御尊影奉戴式

別項記載の如く東上中なりし宇都宮軍司令官は師團司令部に御下賜の皇太子殿下の御尊影を捧持して廿二日朝十時龍山驛著山本參謀捧持し一先づ軍司令部に奉安し午後三時師團へ奉戴し西田大佐は盛裝して軍司令部に出頭御尊影を奉戴し師團司令部に入りたるが淨法寺師團長以下職員一同盛裝して玄關前に整列して奉迎し斯くて會議室に奉安したる後一般の拜賀式を莊重に舉行せり

總督訓示諭告周知視察

總督府にては民心の傾向及び新總督訓示並に諭告趣旨の周知狀況視察の爲め左記に依り時永事務官外六氏を各道に派遣すべし

黃海道（內務局）富永事務官
平安南北道（參事官）時永事務官
咸鏡南北道（殖產局）田尻事務官
忠淸南道（參事官室）張間參事官
全羅南北道（內務局）青庄試補
忠淸北道慶尙南北道（財務局）杉本事務官
京畿道江原道（庶務部）田中事務官

右各事務官は二十二日政務總監邸に集合諸般視察に關する打合せを遂げ不日出發すべしと

京城中學十周年記念式

京城中學校十周年記念式は二十二日午後二時より同校式場に於て舉行總督府より學務關係者列席別項總督告辭の代讀ありたり式次は左の如し

第一號音生徒職員入場、第二號音來賓入場、君が代、勅語捧讀、本校教育狀況報告、來賓祝辭、學校長答辭、閉式後生徒成績品、第四五學年生徒中隊教練、第一二三學年生普通體操、劍道柔道紅白勝負等を催せり

總督告辭

京城中學校創立以來正に十年其の間多數の卒業生を出し朝鮮に於ける中等教育界の先驅となり國家教育の進步に寄與する所多大なりしは全く職員諸子の熱誠なる薰陶と生徒諸子の奮勵學習の結果にして啻に本校の榮譽たるのみならず又實に國家の爲に祝する所也今や歐洲戰後に於ける世界各國は國民教育に全力を注ぎて又餘蘊なからむとし將來國運の盛衰は一に其の教育の振否如何に依りて決せらるゝの傾向特に適切に感得せらるゝの秋に際し教育に從事する者の責任亦一層の重を加ふ冀くは諸子其の使命の大なるを顧みて益々奮勵努力各智德を磨き身體を鍊り以て國家の進運に貢獻せむことを茲に本校十週年の記念式を舉ぐるに臨み一言以て諸子に告ぐ

地方巡察官制

水野政務總監談

內地に於ける內務監察官の制と均しく朝鮮に於ても上意下達下情上達の機關として地方巡察官創設の要あり今回取敢ず七名の事務官を各道に派遣し民心の傾向並に統治趣旨の周知狀況如何等を巡察せしむる事となせしが何れは官制を制定し經費の如きも之を來年度の豫算に計上する考へなり

全線保線會議

朝鮮全線保線會議は二十二日より二日間京管局社友會圖書室に於て開會することゝなりたるが第一日は午前九時より開會全線各地よりの保線手多數參列種々協議する處ありたり

會計主任會議

＝第三日＝

會計主任會議第三日は廿七日午前九時より總督府第二會議室に於て開會湯村事務官統裁の下に午前午後に亙り會計事務に關する打合せを爲し四時散會したるが之れにて同會議は終了したり

內務局長室に於ける大塚新局長

要は至誠公明にあり

統治方針の徹底理解が急務

大塚新任內務局長談

內務局の事務は前の內務部時代に比すれば事務、職員等を他に獨立又は外局せしめたる爲め以前に比し餘程縮小されては居るが內務行政なるものは間口よりも奧行の方が廣く且つ大きいから吾々如き菲才能く其任を勝し得るや否や疑問であるが……既に朝鮮統治の目標は立派に明示せられてある要は如何にして此の目標に達せしむるやの問題である日本も既に併合以來十年間朝鮮統治の根本方針に何等の錯誤も不都合も無い事は何人も認めて來たが勿論根本方針の實際に當つては其必要を痛感しつゝある此の方針は今日と雖も一定不變であるが

統治の實績に至つて

は必ずしも成功と云ふ事は出來なかつたのである總督府設置以來所謂併合の趣旨に就ては充分今日迄時に當り事に臨んで普及說明に努めて來たが這回の騷擾に依つて實際一般に之を徹底せしむる事の出來て居なかつた事を知るに至つた次第である勿論

徹底的に理解

せしめ依つて漸く感激し融和したる如く……事は不可能なることは何事に依らず全般に亘つて周知徹底せしむるといふ事は至難であらうと思へざるを得ぬ事であらう……の事業である併し智識階級に對しては今日世界の大局上より觀た內鮮の關係及び朝鮮の位置を講釋し……

英國の印度に於ける

日本の朝鮮に於けるとは其事情に於て否境の差あるは勿論であるが其地の舊慣を無視する制度が如何に民心に合致せざるものであるかを見るの好適例であらう……日本政府の誠意を認むるであらう……

今後朝鮮統治

は既に總督の訓示に於て盡されてある如く正義公明を以て行はるべきのである云々

京畿米作不良

京畿道廳にては管內各郡の九月二十日に於ける本年米收穫豫想高の報告を徵集中なるが既に報告ありたる各郡の分に於て見るに過般の旱害及び風害の爲め作柄概して不良なり而して本年豫想額を昨年實收に對比せば左の如し

郡	昨年實收高	本年豫想高
楊州郡	一〇四、三六五石	八一、〇五三石
抱川郡	三四、〇四六	三七、三六八
驪州郡	九三、一四〇	二一、六〇七
龍仁郡	一〇五、五五三	七六、三二七
水原郡	一六九、七三三	一〇七、九五三
始興郡	六六、八〇一	四四、一三三
坡州郡	七九、九八〇	三九、三四〇
長湍郡	六九、三八〇	五八、九五四
開城郡	一三四、六六八	七六、八六八

鮮銀店長會議

朝鮮銀行支店長會議は豫報の如く廿二日より本店會議室に開會支店長（釜山、羅南を缺く）出席本店より美濃部總裁以下片山理事各局長各課長等列席したるが會議の日程は左の如く時間は午前十時より正午まで午後二時より五時までなり

第一日、總裁訓示諮問事項
第二日、諮問事項
但し二十三日中に諮問事項終了せざる時は引續き二十四日午前中より開會す
第三日、協議事項
第四日、同上
第五日、同上
二十七日終了の豫定なり尙ほ出席支店長は左の如し

東京佐藤得四郎、外國部長安田弘、大阪掛井朱治、神戶武安福男、下關井上正變、平壤宗像璣夫、仁川松崎彥一、元山上田直秀、大邱中野悠、釜山久丸山正雄、會寧石井淸次、龍井村池田五郎、大連阿部秀太郎、奉天小西春雄、鐵嶺竹末厚次、長春開原今井源良、四平街先川喜代治、鄭家屯岸本德三郎、吉林後藤登丸、哈爾賓久保田槇藏、上海橋本萬之介、靑島常世宜巳、濟南杉之原孝善、天津木原小平

支店長招待

鮮銀重役は來城中の支店長並に本店幹部を二十三日午後七時より京喜久に招待饗宴する由

鑛業會張宴

朝鮮鑛業會にては二十一日午後七時より官民多數を招待併せて會員の親睦を圖るため朝鮮ホテルに饗宴せりデザートコースに入り川崎理事長の挨拶並に鑛業界大勢の演述（別項參照）あり之に對し來賓總代水野政務總監の謝辭ありて散會したるは十時なりし

鑛業界狀勢

川崎鑛務課長演述

（前略）朝鮮の鑛業界の大勢を觀ますると漸次發展して今日に至りました乃ち明治四十年には全鮮の鑛產額は四百萬圓に過ぎざりしも日韓併合の行はれし四十三年には一千萬圓に增進し更に八年後の大正七年には三千七百萬圓の數字を示し漸次增加の勢ひであつたが對獨休戰となり非常の激落あり……近來タングステンの如き一時鮮內各地にその採掘を見てゐたが休戰以來その殆ど全部が休業する事となり……米國の禁輸及び米國市場に印度方面よりの輸入により……然も金價に變り……（下略）

三井店長更迭

三井物產會社京城支店長は二十日左の如く更迭せり

京城支店長　高野省三
天津支店長　大阪支店棉花課長　辻武美

財界閑話

東拓は昨年の秋季から初めた農場果樹園の苗木の…… 吾人招待野遊會を每年々々中行事としてやると云つてゐたが今年は都合上止めたとの事▲何でも本年は五十萬から落ちたらしく折角の有様を招いても淋しい賞生りの有様を御覽に供し得ないでは興醒ましたがとも云ふ▲秋一日の行樂として東拓の催しは頗る格好だつたが天候によりて打ち毀されたのは遺憾である▲鮮銀の店長會議が今年は一つた趣向を凝らすべく會社の當局は首を捻つてゐたと云ふのに惜しい事である▲……

西鮮拓鐵出願期

西鮮拓殖鐵道株式會社出願は三月中に一千萬圓の西鮮拓殖鐵道株式會社の調査を終了するを以て多分二十六七日頃願書を提出するに至るべし

軍司令官歸任

宇都宮軍司令官は二十二日朝十時龍山驛著歸任したるが寺師團長以下軍及び師團幕僚等の出迎へを受け古城副官を隨へ直ちに自動車にて官邸に入れり

人事消息

▲吾孫子勝氏（京城專修學校長）病氣の爲め東京に轉地療養中の處二十六日歸城
早川二等軍醫正（師團軍醫部長）大邱衛戍病院に於ける看護學修業兵第二期教育檢閱狀況視察の爲め二十五日出發すべし
▲山本步兵大佐（軍參謀）東上中の處二十二日朝歸城
▲石田錦莉（平町署長）新任挨拶の爲め二十二日龍山方面歷訪
▲松平直平子（東拓理事）二十四日東京發東上一泊の上二十七日夜歸城の豫定
小原新三氏（前農商工部長官）十八日本鄕駒込より府下荏原郡大森町字木原山千七百八十五番地に轉居せりと
▲大池忠助氏（釜山實業家）▲迫間房太郎氏（同上）▲香椎源太郎氏（同上）二十二日朝入城
▲野村吉三郎氏（海軍大佐）二十一日退城
▲楠原源郎氏（公州地方法院檢事正）廿五日午前十時出發赴任の豫定
▲奥村安太郎（朝鮮無煙炭鑛會社專務取締役）廿一日夜入城朝尾▲久我清廣氏（鮮銀釜山支店長）▲山野滋氏（鮮銀大邱支店長）▲丸山正雄氏（鮮銀木浦支店長）二十二日朝入城不知火へ

其の日その日

◇支那財政の危機は、吾人屢々之れを報ぜり、而して是れと同時に、我對支政策に對して一新を要望せり、今日の支那は實に內憂外患交々臻らんとす、洵に傍觀するに忍びざるものあり、然るに河南の兵變を報ず、財政困難給料不拂に基因するは說明の要なし。獨り河南のみならず、全支の動亂必無を保せず。若し夫れ隨所に動亂の捲起を見んか、我最も恐るべき禍害亦少しとせざるべし。されば率先列強を說服し、對支借款の周旋は、今日我邦の義務にして、日支親善の實を茲に存すべし。吾人が對支政策の一新を要望する所以亦他に非ざる也。
◇四國借款の談判は、久しく決定せざりしが如く漸く代表の結果、吾人は其の何人の適不適を論ずるに非ざるも、制度の不備は、米國代表者の……して手に……至つては、吾人の希望する處は、事は外事、內事を以て外國に訴ふるが如きは、尤も喰はぬ夫婦喧嘩同樣也。斯る手合は正に支那の資格を沒却せる者と謂ふべき也。
◇米國の有識階級二百五十人連署して、條約無條件批准を提出す。彼等は兎に角國際聯盟を成立せしめ、然る後米國の有力なる後援を以て、支那をして山東問題を聯盟會に提出せしむべしと云ふにあり。米國の批准如何は人類の大きに御勢する所。……吾人の關する山東問題に至つては、……
◇戰爭を主として、條約を破壞せんとするは米國共和黨也、米國共和黨の態度を是認せんとするは獨逸也。其の何れも自己の利害に關する點に於て一致す。而して米國の單獨講和は、獨逸に不利にして、獨逸には有利。歐洲に於ては獨逸人が矢張り上手。

婦人世界 十月號

山田憲 二人りの女
（渡間つぎ子・餘話）殺人技師にも血あり涙ある話……恐しい婦人病毒防ぎと治療 木下博士
……コレラに感染し全快……
女學校の制服問題 付全國校長の意見
服裝なんぞは如何樣でも宜い 文部大臣 中橋德五郎
家庭で用ゐる品物の計畫調べ……牛肉よりも安い鯨の料理 …… 夫人
失戀の悲しき胸 無言の難行を積む
五十餘人の若き尼
太鼓を叩き題目を唱へ懺悔祈禱する
うら若き病婦の群
木曾の今仙人
旅中小曲
麗人傳
（其他）
……から處は何處でンドが婦人なンドを……居てしかる
東京本郷 實業之日本社發行 定價一部金三十錢

大連市山縣通
大連汽船株式會社
電話 六六三番 九六四番

職業 年中休日無
製造品永久確實 見本進呈 特約店募集
大阪天王寺大道一丁目 三九一八 豐國商會

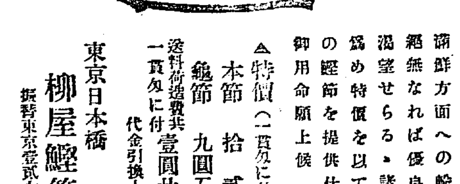
精米業、質屋業、穀糠、朝鮮古郵券賣買
京城府本町四丁目
佐野仁作商店
電話一四九二番

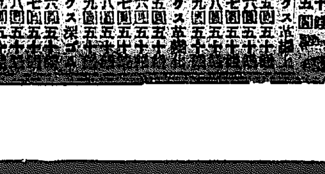
東京三益の靴
ボックス革製實用長靴
ボックス編上 七圓五十錢 八圓五十錢 本十五圓
特製 一號 二號
ボックス革製 一號五圓 二號六圓 三號七圓 四號八圓 五號九圓
ボックス深ゴム 一號六圓 二號七圓 三號八圓 四號九圓 五號十圓
註文の節は靴の種類と寸法を御通知あれ代金引換にて御送附申上候
目錄寸法用紙要二錢
御希望の方は特別割引御相談に應じ申べく候
東京市芝區愛宕下町
三益高等靴店
電話芝一六九 振替東京一七二〇

穀物、海產物、綿絲、布木、紙物、皮物其他
貿易並委託賣買
釜山府大倉町
主一商會
電話 主務 崔 孫永

科學の及ばぬ所は哲學で解決す●藥のきかぬ病難は哲理で癒る これ學者の與論●こんな難病惡癖も試みよ遠方は遠隔療法あり
哲理療法應需
規則進呈 京城吉野町一ノ九一 全哲學館朝鮮分館

最上 鰹節 特價販賣
優良なる鰹節は未だ朝鮮方面への輸送は絕無なれば優良品を渴望せらるゝ諸士の爲め特價を以て最上の鰹節を提供仕候間御用命願上候
▲特價（一貫匁に付）
本節 拾貳圓
龜節 九圓五十錢
送料荷造費共一貫匁に付壹圓廿五錢
代金引換十五錢增
東京日本橋
柳屋鰹節店
振替東京壹貳七〇六番





母みね子儀病氣の處療養不相叶昨二十一日午後六時死去仕候間此段謹告仕候
追て葬儀は途中行列を廢し明二十三日午後四時長谷川町妙心寺に於て相營み可申候
尙御供物花輪等の御寄贈は堅く御辭退申上候
大正八年九月二十二日
京城府林町一六五
中川虎太郎
親戚 大野大輔
　　 葉室吉太郎
親戚 入江鎌之助
友人 農學博士 豐永眞里
　　 更田信彌
代人 遠山龜三郎

國境横斷旅行(五)

將來大都市たるべき上三峰を過ぎて西へ
路傍に李伯の警告文
雪が會ぬ中に躑躅の花が咲く 眼を引いた『政治犯處罰令』の抄錄

會寧にて 特派員 伊藤韓堂

鍾城から恵山鎮へ

記者は本來、鍾城から穩城に行き慶源に廻つて琿春を視察し、雄基に出で清津に歸つて來て、而して茂山方面から惠山鎮に向ふ筈であつたが、北の方は既う朝晩寒い位であるから、前途を急ぐ必要上、殘念ながら鍾城以東を視察せず、直に惠山鎮に向ふべく會寧へと志した。

九月二日の朝、鍾城邑を出發することにしたが、氣になるのは此の病馬八十四圖號である。此奴が癒つて呉れないと豫定通りに國境線を辿ることは六ケ敷い。旅宿の前に牽いて來て荷物を附けながら心配して居ると

郵便集配夫の

金某と云ふ人が來て私の馬と換ませうと云ふ。先方から申込んで來る位だから換へばどうせ此方の得にならないとは分つて居るが、我が八十四圖號を治療するには二十日以上も掛るさうだから、取敢ずスグ乘馬の出來る馬と交換することは記者に取つて極く必要のことである。乃で彼れが云ふ儘に交換して了つた。然るに換へた馬は溫順いだけで未だ訓練を積まない幼馬であつて

牛が通れば牛

を避け馬が通れば馬を避け、決して先方から避けさせようとしない。人間なら誠に謙讓に富んだ人とも云へやうが、サリとは餘りに意氣地が無さ過ぎる。牛馬だけなら未だもだが人に行逢うても一々避けやうとするに至つては愈々閉口頓首した。村か町へでも入らうものなら大變だ、彼方も此方も避け縮けで御主人公の爲には甚だ迷惑千萬だ。其の新八十四號に跨つて鍾城を後にして發つたから堪まらない逢ふ者毎に避けて行くので堅の道を横に歩くやうなものだ。仕方がないから馬を下りて後から鞭ちながら追うて行くこと

江岸に沿うて

一里半許り來た處に內地人の姿を見た。此處は何處かと聞けば既に上三峰であつて、此處は豆滿江が會寧から來て、此處から北折して支那に入り名を天寶山鐵道と改める處である、現在では小さな村で十四五戸しか無いが、今秋から鐵道が竣工し、又天圖輕鐵が開通したならば鍾城、穩城方面の物資は恐らく此處に集まり、一方に於ては此の交通の要衝地となつて先づ日支の稅關も置かれよう、警察署憲兵隊も置かれねばなるまい

將來一大都市

を形成して兩輕鐵が合付となり吉會線の一部と成る事があつたならば、西の安東縣、東の義州に對比すべく寧ろ繁榮を爭ふ土地柄だと思はれる。此の上三峰を顧みながら西へ〱と溯り電柱を辿つて行く內に何時しか朴達嶺の險坂に掛つて來た。恐ろしう深い長い谷間を奧へ〱と進んで行く內に山は愈々嶮しうなつて來て所々に躑躅の花が見える。躑躅は會寧兀良哈でも澤山見たが此の方面の山の小高い處には何處でもあると見ゆる。兀良哈では

雪中に躑躅花

の咲く話を聞き其の風景を想像したが此の近所でも殘雪の消え失せぬ內に躑躅が綻び初むるであらう。山を越えた坦頭といふ處に憲兵駐在所があつて何の氣なしに揭示板を眺むると李完用伯の警告文が數枚貼り付けられたのが剝いである

×××

又其の傍に『政治犯罪處罰令』を抄錄し諺文で『第一條政治の變革を目的として多數共同し安寧秩序を妨害し又は妨害せむとしたる者は十年以下の懲役又は禁錮に處す』など云ふ點付て貼付されたのが殊更に通行人の眼を引いて當局苦心の跡も推し測らるゝ。

こゝにも秋の氣分(盆栽の手入れ)

監獄にも勞働問題

充分の研究を要する 柿原新檢事正の話し

西大門監獄典獄として令名のあつた柿原琢郎氏は新義州地方法院檢事正に榮轉し近く赴任する筈であるが、西大門町の官舍に訪問すると『西大門監獄には

滿五年

一箇月居りました、何しろ監獄は人世の縮圖で、人間生活萬般に關係があり教育や衛生等から社會救濟の事業迄も含まれ頗る複雜なものである之は全く經驗で朝鮮でも殊に複雜した周圍を持つ西大門監獄に着任したので殆ど五年間は

藻搔き

通して終つた、然し自分は五箇年間の典獄生活に依つて二つの尊いものを得た、夫は人間生活の暗黑面である監獄に於て總ての人間生活の醜い恐ろしい然も如何ともする事の出來ない種々の實相に觸れ得た事、次は過般の

騷擾で

總ての階級總ての職業宗教を網羅した朝鮮の民族に接し得て彼等の眞情を幾分知り得た事です、在職中に困つた事は騷擾の爲め設備がない上に非常な多人數を收容したので在監者中には充分の保護や監視が行屆かず、監房で『獨立萬歲』を叫ぶへたなぞの

奇怪事

も發生しました、本年五月頃は頗る夥しい在監者を收容してゐたが取調も著々進捗し大半は終了したので現在では非常に尠くなりました。昨今は勞働問題が八釜しく論議されるやうですが是からは監獄內の勞働時間、勞働能率なぞも充分研究を要する、自分は監獄の仕事とは離れても、監獄に對する研究は

永久に

續けて行く決心である五年や十年で此複雜な監獄研究は成果を得られるものではない云々因に出發は二十五日頃の由

仁川の患者は眞正

二十日仁川に入港せる第十八□丸の虎疫死亡患者は二十一日檢鏡の結果眞正と決定せり其他の乘組員二十三名は檢鏡の結果保菌者を認めざるを以て月尾島檢疫所に於て夫々嚴重なる消毒を施したり(仁川)

投身患者屍體發見

越後丸より投身せしコレラ患者の死體は廿一日午前六時同船抑留附近にて發見火葬に附したり

車中に虎疫

又も京義線に發生

二十一日午前七時半新義州發南行第六列車に平壤より乘車したる鮮童一名車中虎疫に罹りしき症あり乘車檢疫員の要求に依り患者及び同乘旅客四十名は間坂驛に下車せしめ夫々應急に處置を施したり

渡船場で檢疫

漣川署の試み

漣川警察署にては廿二日より左記渡船場にて檢疫を開始したり
漣川郡北面砂化亭渡船場、同郡王澄面登里渡船場、同郡南面馬灘渡船場、同郡嵋山面堂□渡船場

問題の人 田榮爵

詐欺取財で檢事局送り

問題の人田榮爵(三七)は詐欺罪として本町署に拘留取調中なりしが本年六月七日より九日迄朝鮮ホテルに止宿、宿料三十一圓餘を踏倒したるを手始めに同月御成町鐵業鐵谷氏造に對し自分は中樞院顧問前總理大臣

王士珍氏

の秘書官時代に山海關に石炭坑採掘權を獲得し居るに付共同販賣を爲さんと詐き資金と稱し三百五十圓及び田[illegible]

虎疫退治の妙法

京城人士は發奮せよ 防疫委員の一人は語る

鐵道京義線兩方面の虎疫は益々南下の勢を示し京城府民を脅かしつゝある折柄又復仁川に眞正虎疫が發生した、是に對し當局は現今の進步せる醫學程度に限り

全力を傾注

して防疫に從事しつゝあるも未だ終熄を見る處か益々蔓延の徵あるは誠に遺憾の至りである。之れは全く知識の低い教育の足らざる一部國民の間に衛生思想乏しき缺陷に乘ぜられつゝあるからである。當局者は勿論一般の開業醫などが個人衛生思想の普及に努め

對岸の火災

視して京城に虎疫が流行したら豫防接種をやらうなどゝ平然たる吞氣さ加減には呆れざるを得ない若し各人が個人的防疫手段は屢々新聞紙上に掲載せられ或は衛生講話にて普及せられたる如く實に簡單なものである、唯これを實行しようと云ふ人が尠いのが遺憾である、明日とも云はず直ちに今から全部府民が實行したら虎疫恐るゝに足らず

枕を高うし

て安眠する事が出來るのだ、然らば個人的防疫の手段とは如何なるものかと云ふに唯一言にして盡す事が出來る、即ち第一に飲食物に注意して虎疫病毒を體內に侵入せしめざること第二豫防接種を施して萬一病菌が侵入するも虎疫に罹らぬ樣にすることである第一の虎列拉の病菌を體內に侵入せしめざる樣飲食物に就て如何なることをするかと云ふに之も簡單である、即ち煮沸しない生の飲み物や生の食物を

絕對に口に

せぬことである飲食物は必ず充分煮沸して攝取すれば假令病毒があつても死滅するから安全である、猶ほ附け加へて一言すべきは每朝洗面時の含嗽には煮沸したる湯を冷して使用すれば之れこそ萬全策である往々洗面時の含嗽に因る菌があつて感染することがある、第二の豫防接種は[illegible]せられて以前の接種液の如くに反應は極めて

輕微にして

全く反應なきものが大多數である稀に少反應のあるものも唯局部に輕き疼痛を感ずるのと頭が少し重い位に過ぎぬ熱の出るものや嘔吐下痢なぞを來すものは自分は管て一人も見ないのである即ち此接種を施す時は假令虎疫菌が體內に侵入するとも虎疫に罹らないのである萬人中一二名虎疫に罹らないでもないが普通の腸加答兒の如く輕易で速かに治癒し

死を免るゝ

のである然るに京城府內に流行し始めてから接種して見ようなどゝ云ふものがあるに至つては餘りに其無智を憫まずには居られない斯る人は一番最初に虎疫に罹つて京城に於ける

流行の開祖

となるのである豫防接種は接種後直ちに免疫するものでなく一定時日を經過して初めて安全の體質に化するのである、最後に少しく詳細に述べて一般に注意を喚起したいのは誰でも知つてゐる事で而も實行の困難な蠅の撲滅であるとも衛生講話で屢々聞かされ耳に胼胝が出來るのであらうが乞ふ少しく是を明日に延べしめよ

無價値の支那軍人公債

上又本年六月東京淺草區田町一番地市川健三郎方にて支那軍人公債百圓券四點約百圓を詐取同區方面にも二回に約五十圓を詐取、越て七月一日釜山佐川洞朴世宅に赴き公債を買收すべしと虛僞の風說を流布し

釜山迄の

旅費三十四圓十七圓の代りに例の公債百圓券一枚を同ホテルに預け入れたりこれより先彼は本婦某を伴ひ岡山市石井旅館に止宿したる事もあり、宿料七十三圓餘及を借受け釜山にて支拂ふ約束なりしより同旅館よりは木村九一後田は兎や角と口實を構へて支拂はざるより遂に石井旅館より右の事情を訴へ出で取調の結果以上の事實判明二十二日檢事局に送られたり

開城で檢疫

二十一日から開始

二十一日より開城驛以北各驛に對し防疫上同地に一時施せられ各旅客は同地に於て檢便又は一夜停留せらるゝ事となり各驛に於て乘車券發賣の際其旨を承知する事とし又檢便の爲め乘車券通用期間延長の請求ある時は開城驛長に於て事實を確めるの上證明書を交附する事となりしが新義州其他に於て檢疫證明書の所持者及び檢疫官に於て檢疫の必要なしと認むる旅客は下車に及ばざることゝなりたり

賊と格鬪

憲兵と巡査 活動寫眞其儘

二十一日夜九時過ぎ龍山漢江通六番地前田質店に入り來れる二十四五歲の鮮人あり

服裝に

應はしからぬ出著劍裝五つ紋付羽織、羽二重袷をはじめ羽二重下著及び女物紋付お召縮緬等其他數點を風呂敷包より取出し鐵道社宅の某家より頼まれたりとて入質を申し込み其の舉動が何となく不審の點あるより前田質店にては體良く斷りつゝある折柄

密行中

の龍山憲兵分隊東村上等兵及び龍山警察署の金巡査が入り來るや男は兩人の姿を見るなり突然身を躍らし折柄の闇夜を幸ひ逃亡を圖りたるより兩人は直ちに

追跡し

途中發覺か格鬪逮捕に努めたるも賊は飽く迄逃れんと猛烈兩人を突飛ばすなり溝と云はず凹池と云はず構はず廻りとある七

猿の如

く塀に飛び付き

八許りの塀ある家の前に來るや身を躍らして塀內に飛び入らむとしたるに牛皮著衣が釘に引掛り見事の宙にぶら下り藻搔き居る中兩人は追跡し來り東村上等兵は金巡査に著衣を確と握らせ自分も引續いて塀內に跳り込み藻搔けるを幸ひ

宙の儘

捕縛し龍山憲兵分隊に引致したるが此奴は梁爲均(三〇)と呼ぶ前科數犯の兇賊にて餘罪ある見込みなり賊は格鬪の際手足顏面其他に十數箇所の擦過傷を受け鮮血淋漓として見るゝ

物凄く

東村上等兵も右手其他に負傷し格鬪奮戰の跡を示したり目下嚴重取調べ中

戰利潜水艦觀覽

愛讀者に觀覽券贈呈

希望者は至急申し込まれよ

曩に本社が豫告し置きたる如く光榮ある戰捷の記念、舊獨逸潜水艦二隻は愈々豫定の日割に基き來る十月二日仁川に入港す可く同月三、四、五の三日間に亘り限なく艦內各部の諸設備を觀覽せしむる筈なるが特に本社の申込に對しては本紙愛讀者各位の爲めに七百二十名の多數の觀覽を許容せられたるに付本社は希望者に右觀覽券を最も公平なる方法を以て頒布贈呈する事となしたり其頒布の方法は特に普遍的に公平無私を期せんが爲め各町邑を區分し按分比例を以て抽籤に附す可きに依り希望者は

來る二十五日迄に住所氏名明記の上

本社宛に申込まる可し抽籤は本社に於て執行し其結果は更に之を本紙上に掲載し通知に替ふ可し尙本社は多數希望者の抽籤洩れの遺憾を慮かり特に繫留中の潜水艦を外部より觀覽し詳細なる當事者の說明に宿望の渇を醫せんとする者の爲めに計り艦內觀覽に次ぐの滿足を得せしむるやう努力すべく目下滿鐵京管局と交涉仁川行汽車賃金の割引及客車增結等打合せ中なれば決定次第發表すべし希望者は至急申込まれよ重ねて來らざる好機を逸する勿れ

京城日報社
每日申報社

庭球界の人々(三)

朝鮮體育協會副會長 高野省三君

朝鮮體育協會の副會長として京城運動界の恩人である、今春の野球に庭球に運動界の各方面とも高野君の居中斡旋に負ふ所が尠くない、殊に庭球は氏自身もラケットを握るだけあつて非常な援助を與へ今夏東京高商、早大二軍の遠征して來た事など一に氏の盡力の賜である、君は京城オールドボーイズの中では白眉とも稱すべく後衛としての技倆は驚くべきものがある、猛烈な熱球や巧妙なコントロールには誰も感心させらるゝ、本年四十有餘歲、大會社の支店長として繁劇な業務に從ひながら庭球界の誇りと言つても過言ではなからう、今春、體育協會成立に際しては非常な努力を與へ遂に是を實現せしめた事は運動界の爲め吾人の感謝措く能はざる所である。君は、秋田縣米澤の人、廿八年東京高商を卒業して日本鐵道に入社したのが出世の振出しで廿三年三井物產に轉じ大阪支店から植民地廻りをして大正四年一月京城支店長の椅子を占め現に朝鮮製紙、南北綿業其他の重役を兼ねてゐる、嗜好は音曲と俠客傳、後備の步兵中尉で、從七位勳六等功五級と云ふ嚴めしい肩書は君の日露戰役の偉勳を物語るものである。(現住所は旭町一ノ一三三)

全鮮の宣教師

京城に集まる

來る二十五日より二十九日迄五日間京城に全鮮宣教師大會を開催するに決定せるが各地よりの代表者約百名出席の豫定にして會場は尙未定なるも多分基督教青年會館を以て充當することなるべし

鮮銀行員追悼會

朝鮮銀行にては來る二十四日午後二時より總裁邸後庭にて銀行創立以來の死亡行員の追悼會を催す由なるが死亡者は市原總裁以下約百名なりと

急行列車延著

廿二日朝釜山著の急行列車は一時間三十分の延著を來し高麗丸は僅か三十名內外の旅客を乘せて出港せり(釜山特電)

◎轢死體發見 二十二日午前一時過ぎ京釜線勿禁驛附近巡回中の線路工夫は線路內に鮮人男六十歲位の者一名轢死せるを發見勿禁驛長は住所氏名原因不明の事由を以て同地官憲に引渡したり

洋畫展覽會を觀て (古田)

◇南大門通一丁目大和生命保險會社階上に開催中の第二回朝鮮洋畫同志會展覽會を觀る。

◇出品總數七十點、昨年第一回展覽會に比ぶれば質に於て遙かに進み量に於ては極つて居る。つまり屑が尠なくなつて展覽會らしい展覽會の色彩が殘つて來たのが眼に附く

◇然し出品を當から觀れば單に素見的の出品が尠なくなつて、幾分眞面目な方向に進みつゝあるを認むる以外に大した傑出作品も見當らない。

◇先づ場內出色の作品を希むれば高木背水、石田富造、日吉守三氏の作品を除いては何れも幼稚の域を脫して居ない。だが幼稚と云ふことが必ずしも拙劣だと云ふ意味でなく、唯練熟して居ない、纏まつて居ないまでのことで面白味は別問題である。

◇先づ概評を加ふれば、第一室は取り立てゝ云ふほどの作品は見當らない木村泰山氏の『赤いリボン』(水彩)は形は怪しいが感じは可成り尖銳に出て居る三木弘氏の水彩二點は將來がありさうに思はれる。

◎難波輔之子 元本社員難波英夫氏夫人輔之子(二一)は豫て病氣中の處去二十日後零時二十分逝去したり、日東京京橋區南佐柄木町七番地自宅に於て告別式を執行したり

運動界

◎中川技師母堂の訃 中央試驗所支部中川虎太郎氏母堂みね子は豫て病氣の處二十一日死去二十三日午後四時寺市內長沙洞妙心寺に於て葬儀執行の由

老童庭球大會

京城老童庭球大會は既報の通り廿一日明治町三井物產コートに於て擧行されたり午前の試合は昨夕刊所報の通りで、餐の後は更に組合せを變へて戰ひ午後三時より滿鐵三井聯合軍對老童の試合あり頗る盛會なりき

青年會コート開

基督教青年會では過般新コートを造りたるが其コート開きを兼ね廿一日午後三時より庭球大會を擧行したり會員來賓打交つての紅白勝負は非常に身の入つたものなりき

紅 白
○石田 水島……松島 和田
石田 水島……黑瀨 酒井○
德丸 竹內……黑瀨 酒井◎
○山中 渡邊……大石 小貫
◎山中 渡邊……吉岡 森山
松島 戶塚……德見 保田○
野崎 福原……德見 保田◎
若井 小塚……宗像 牧野○
○會田 秋山……宗像 牧野
◎會田 秋山……新澤 高橋

優退戰の結果紅軍大捷す

朝鮮商業銀行對第一銀行庭球戰は廿一日午後三時より明治町商銀コートに於いて擧行商銀軍頗る優勢にて遂に優退一組を殘して大捷せり

一銀 商銀
○祖、高野三……二神崎、李
◎祖、高野三……一高瀨 山本
山田 谷脇○……三高平 永山○
加賀谷 森○……三高平 永山◎
荒井 松浦一……三永山 石原○
○小島 井田三……○永田 石原
小島 井田二……三岡部 森○
祖、高野○……三岡部 森◎

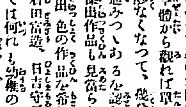
三越軍捷つ

三越吳服店對南大門金物商の野球試合は廿一日午後六時より京中運動場に於て開催三回ゲームの結果は六對七Aにて三越軍の勝利に歸したり金物商連中は打擊は振ひたるも守備が駄目なりき正に堅褌一番奮勵すべきなり兩軍の陣容左の如し

三越軍		金物商軍	
加納	8	安原	8
貝堀	1	青木	7
早川	6	宮川	2
鈴木	5	青木	6
横瀨	3	西松	4
中尾	2	山田	6
片桐	7	馬場	8
大田	6	天神	5
旌島	4	沼田	1

東協軍慘敗

滿鐵軍對東洋協會野球戰は廿一日午後一時より龍山滿鐵グラウンドに於て擧行されたるが滿鐵軍の堅陣には新鮮の東協軍も施す術なく終に十六對零と云ふ悲慘なるスコアーにて大敗せり



灯頃

▲野村大佐は初め朝鮮ホテルに宿泊したが齋藤總督から話し敵手に來て與れと云はれて總督邸に滯在して居る▲其野村大佐が謠曲の最後を結ぶ時『終りッ』と凜とした聲で言つて擧手の禮をするのは奈何にも軍人式で嬉しい▲東鄉海軍武官が滿蒙方面へ榮轉の噂がある、田所中將が『君が居なくなると困るね』と言ふと▲『イエ私が居らんでも代りが來ます朝鮮には海軍武官の駐在が是非必要なんですから』と說く力を入れて言つて居た▲田所中將列車の中で令息泰君の頭を撫じく『什麼だ君、十歲にしては大きいぢやらう』▲『傑作ですネ』と言へば『價格は親に孝で可いハヽヽ』となかなかの子煩惱

北檢穀數量 十二日 四七九九叺、滿道同八、二□□ 同期に比し四十七萬七千七百八八八叺 □□□□□□□□二八八叺今□□□
□八叺、咸南□六、二三五八叺、十六叺□增加せり而して之□□□
□□三□叺、□□□金泉三一一叺、□□□

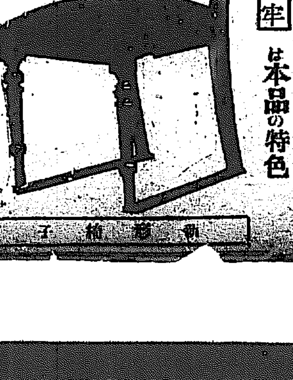
東京現株 (至急電報) 前場 引値 □□□ 下落
仁川期米 二十二日後場

大氣 一晴一時曇

軍隊拂下被服類
京城府北米倉町 電話千百十二番 村上商店
特別賣出 新品軍隊式茶褐夏服 一組 三圓五十錢より四圓五十錢 同茶褐コール並に杉綾極大年將 一圓八十錢より二圓五十錢 同品各種洋服メリヤス類 見切品多數 古品細小倉作業服 一組 其他革具類靴官帽拂下品

懷中要藥 清心丹は
人魚印を以て商標とす
此の外は皆惡い僞物!!!

松本製作所の考案になれる最新式の椅子は最善の努力になる!!
低廉 輕便 堅牢 は本品の特色



新形椅子
營業種目 椅子テーブル 室內裝飾品 和洋家具類 體操器械 運動具 學校用器具 製造販賣
營業案內無代進呈
京城本町三丁目 松本製作所 電話 一四八九 振替京城六一三八

古本と古樂器買入 京城本町 電話 ウツボヤ書店

眞鍮品鑄造
蝶番。取手引落類其他何デモ御下命通り迅速安價ニ出來マス
京城本町一丁目 金物商 佐野彥藏商店 眞鍮品鑄造工場

優美堅牢眞に履具合良き
代理部の靴

ボックス皮	
甲	十六圓五十錢
乙	十五圓
丙	十三圓五十錢
キツト皮	
甲	二十三圓
乙	二十一圓
丙	十八圓五十錢

編上及深ゴム短ネダン短靴はボックス二圓キツト三圓下り地方よりの御注文は御一報次第寸法取り圖解御送附可仕尙既製品御入用の場合は靴種類並足袋の紋數其他詳細御通知願上候但之は安價のものも有之候共責任販賣致兼候
京城日報社代理部 振替京城三百番

入院隨意
京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)
酒井婦人病院
電話 一八番 一六〇〇番
酒井一郎

第五版

安東縣より

支局　鄙山生

鴨綠江上流より年々流下し來る木材は一千五百萬圓乃至二千萬圓に達し安東縣所要物資中の第一位を占めつゝある者なるが其の流筏の親元なるものは鴨綠江採木公司、營林廠及び興業株式會社等にして各々流筏期に際しては乗夫即ち筏夫の募集、爭奪其の他纏綿せる情實あり種々の弊に堪へざる有様なれば此の共通の不利益を除去し他の共同の利益方法を講ずる事に就て當局者の苦心する處に御座候由來上流には流筏請負業者と稱するもの二十餘名あり、採木公司營林廠及び製紙會社等に附隨して活動しつゝあるも年と時によりて繁閑の伴ふを免れず從つて乗夫のやり繰りの上利益不利益の伴なふは已むを得ざる事に屬するを以て是亦夙に共通の利害關係より打算して何とか萬全の方法を執らんとするの希望ありし處、茲に着目したる安義兩地の資本家は資本金二百五十萬圓の一大會社を組織し以て互の利益を増進せんとの計畫は着々進捗し居るものと聞き及申候茲に於てか大體に於ては採木公司も營林廠も製紙會社も又上流の流筏業者も異論なきが如しと雖も細目に涉りての交渉は稍行き悩みの感なきにあらずとの由に候、第一流筏事業の全部に亘りて一會社の獨占事業に委する時は獨占事業としての弊害を釀生する事はなきや、其の一大原因なるべく且又各當局に於ける株の割當に就ても議論あるが如くなれども此の細目に依る解決の期あるべしと察せられ候

次に現はれんとしつゝある一大會社は安東、新義州及び沿線各地に散在する杭木專問及び杭木を取扱ひつゝある木材業者により計畫せられつゝある杭木會社なるが其の資本金は三百萬圓となるべく目下しきりに事業の推移に熱中しつゝある模様に御座候、杭木は主として撫順炭坑に納入せらるゝものにして今日撫順炭坑に尤も供給不足を告げつゝある杭木に放意する事は業の性質上最も有利の事に相違なかるべしと存じ候

撫順炭坑の出炭額に就て兎角の批難ある今日其の出炭量に至大の關係あるものは杭木不足に外ならず杭木の供給を圓滑ならしめんとせば今日の如き大小商人が個々分立にては十二分の供給に至難なるを以て此の際各營業者を以て一丸となし三百萬乃至五百萬圓の一大會社となさんとする計畫は時宜に適し申候、滿鐵當局にても大に撫順炭坑より人を安東に派し種々調査の歩を進めたる由に候得ば近き將來には必ず具體的のものとなりて現はるべしと存じ候

此の計畫にして漸次進捗するのこせば滿鐵も亦大株主となるべく從つて此の間に雨後の筍の如く簇生する會社とは其の選を異にし殊に滿鐵と云へる背景の下に撫順大炭坑を控ね居る事とて最も健實なる有利事業なるべしと囑目され居る由に御座候、斯くの如くにして我安東の事業界は小會社の分立時代より一躍して大會社創立時代に移り居るものと見るべく候、猶此の際個々分立しつゝある小製材工場をも統一して二三百萬圓位の一大會社となすべき機運は刻々に近づきつゝあるものと觀測するもの之有候、不宣

蒙古の羊

吉田中將調査の目的　皮が第一毛が第三

有望なる前途

本年四月蒙古視察の爲め同地に於ける吉田陸軍中將は爾來内外蒙古を踏査し最近甘肅境界方面の視察を遂げ行程八千餘支里を跋渉して奉天ヤマトホテルに投宿せるが更に鄭家屯方面の視察を爲す爲め北行せり吉田中將は今回專ら人に語つて曰く予は今回專ら内外蒙古に於ける緬羊馬匹の改良牧畜業方面に就き調査を遂げたる蒙古の將來は案外に有望にして吾等の目的は

遠らず實現すべ

し蒙古に於ける地味は内蒙よりも外蒙古の方が肥沃にて彼の蒙古の大沙漠より興安嶺に接近するに從ひ次第に肥沃の度を増し居ると一般世人、思惟されし處とは反對なり緬羊の改良に就ては由來蒙古人は羊の肉を以て常食とし牛や馬は死せる後に非らざれば食用に供せざる習慣にて即ち蒙古人は肉を第一の目的とし

次に皮を第二と

し毛は第三の目的なるを以て蒙古羊は此要求により自然的に多年改良され其肉は吾等の米と同じきものにて且つ美味なる事に

其具體的方法も

窄にも優れる者あり然るに今吾等が羊毛改良を圖るには毛を第一の目的とし皮や肉は第二第三の目的なるを以て蒙古人多年の慣習的目的と正反對の結果となるが故に緩急の手加減をへ双方の利益を考へてせざる可らざるなり又馬匹の改良も同様にて既に成算あるも之を言ふは憚る所なり又馬匹の改良も同様にて要するに最早調査は一段落を遂げたれば急に東京に歸り當路の面々に具申して速かに實行の期に入る事となるべし若し蒙古に於て日本人が土地を得るには夫々方法を以てする時は困難にあらずと語れり（哈爾賓）

大連近事

大豆と包裝統一

大豆混保制實施に伴なふ容器たる麻袋の形狀統一は大豆の聲價保持其他に於て必要事なるが此混保制採用の結果滿鐵に於いて之を監理統一し一般荷主に供與する事となるべき由にて之に要する麻袋の數は約五百萬袋價にて約三百萬圓を要すべきが斯かる大數を一時に集むるは種々の點より不利なるより此古麻袋を利用し置き漸次充實を計る方針なりしがそれにしても數の古麻袋の蒐集は種々困難なる事情あるより此程組織されし委員會にては市内の麻袋

商在荷の品種數量を調べ委員會に提供者たる麻袋商との間に協議に基きて價格の協定をなし滿鐵に納入するの運びとなるべしと云ふ

鮮滿聯合商會

鮮滿聯合大會へ提出すべき大連商業會議所提案は役員會を開催し左の如く協議決定せり（一）滿蒙及び朝鮮に於ける實業教育機關の充實を期すべく當局に意見を開申の件（二）滿鮮商會議所聯合會は滿洲に於ける商務總會と相提携するの希望を有する旨を決議し其意を東三省巡閲使に通ずるの件因に大連商議よりは村井會頭及び篠崎書記長の二名出席すべしと云ふ

白米の檢査と

當業者の意嚮

各地の意見一致

當局に於ては既に前總督時代より移輸出白米に對して玄米通り檢査施行の事に決し近く或は實施の運びに至らずやと想像せられつゝあるが之れに對し一般當業者は其必要を認めぬのみならず之が爲め却て弊害と商業上の不便を生ずべきを以て全鮮精米穀物業者は相携へて其筋に陳情し之が實施の發表に先立つて其

精白の統一

の撤回を期すべしと一致せるが如し仁川穀物協會に於ても其の是非に關して研究協議する處ありしが之に就て協會理事は語る元來内米は檢査を實施せんとする目的は勿論玄米同様聲價の揚に關係する不良品の移出を防ぐ

ものに在るべきも現在に於ては當業者自ら相戒めて粗悪品の移出を避け努めて善良の品を移出する事に一般の商習慣が既に實行せしめつゝある限り何等杞憂する點なく殊更に之が檢査の必要なきは言ふ迄もなき處なり元來白米は玄

自から誇り

とするやも知れぬ異り當業者

クを使用して之れに依つて聲價を附せらる、目下の商習慣なるを以て若し假りに粗惡品を市場に出ださんか一朝にして貴重なる自己商標の汚點を將來に留むるに至り遂には市場に於ける一般評價の低落を來すに至るべきは明かなる處なり之が爲當業者は自己の生命とする

商標の價値

擁護上如何に一時の利得に走ればとて粗悪品の移出を能く爲し得ざる處に屬す又容量の如き由來候の加減によりて自然增減するは假令相當の入れ桝を施行すると時に或ひは規定の量を缺ぐる事あると同時に又或は增量を來せる事無きに非ず斯の如き場合に於て若し減量したりとせんか忽ち相手方の強硬なる小言を受けて其の

信用を失墜

するの惧れあり。等、爲に其の時季に應じて入桝を充分加減し自ら容量の不足を來さゞる樣常に聲價について商人の注意を怠らざるは現時の狀態なりとす斯の如く商人自ら商道德の上に立つて常に聲價の發揚にのみ苦心しつゝある際に當り殊更

檢米の實施

を爲すの必要なきは自明の事に屬し殆んど蛇足たるのみならず却つて之に伴なふ弊害が商業上の不便に基きて機微を失する恐れ無しと知るべからず精白の檢査に對し必要ありとせば當業者は進

慶南の養蠶

當局者談（慶州）

慶南養蠶業は逐年發展し本年は例の不祥事件突發し爲め前途を憂慮せしも幸ひに杞憂に過ずして農家の副業として他の職業と匹敵すべからざる有利なる事を一般に自覺せし結果七年度と比較し養蠶戸數五百戸、桑園反別四百町歩、産繭石數一千二百石餘を增加する

盛況

を呈したり而も春蠶當時原蠶種製造所より一般に配布せし蠶種が不良なりしが如く一部の養蠶家が痛く當局者を攻擊し慶南養蠶界未曾有の紛議を醸すに至りしも遂に許可を得て内地より蠶種を移入をなし秋蠶を飼育せしが風土に適せざるが主因なるも飼育方法及び蠶室の設備不完全なる結果

失敗

に終りしを見るに蠶種の不良にあらずして飼育方法を誤りし結果たるを立證するに足るべし大正七年と比較統計左の如し

（別）	七年	八年
養蠶戸數	一四九三六	一五四七四
桑園反別	一五八一六	一九六二六
掃立枚數	三〇一五六	三一五七五
産繭石數	六〇九三	七二三六

釜山群山

仁川、鎭南浦等各地の當業者は近く京城に會して其筋に事情を審かに陳情せんとせりと（仁川）

牛肉の賣行頗る

下淸津灣及び西湖津の漁撈を禁止し居る爲め漁獲殆んどなく魚市場の如きは閉場同然の狀態にして萬一多少の漁獲のりとするも一般の需給殆んどなく之に反し官數く古女に付き上等五十錢位に販賣し居れり又牛肉の需要頗に增し最初百匁に付き十二三錢を唱へ居りしもの漸次騰貴し三十錢を唱へ目下不足品薄の狀態にあり其他一般に不況を極む（淸津）

慶南の畜產會議

慶南畜產技手會議を二十三日より釜山府にて開催する事に決し慶南道廳より佐々木一部長及び技手數名と鎭海、晋州、東萊、昌原、郡事務官出席する筈なりと（晋州）

畜牛改良成績（大田）

大田畜產組合にては本年七月中三歳牡牛二頭及び八月中二歳牡牛三頭に對し去勢を施したり其成績を聞くに何れも良好にて一見牝牛に酷似し性質は溫良となり肥育は良好なり殊に腰骨の發育は牝の如く頗る柔和にして角の發育は不良なり肉質及び價格は牡牛より良好にして他に比し不良なる點は一般の飲迎する處なるも育稍不良なる動作不活潑の爲め力量減退せりとなし希望するもの尠しと云ふ

最近淸津市況

虎疫發生後に於ける淸津市況は虎疫發生以來民間亦防疫に熱中し居り時恰も夏枯閑散期の後を受け市況頗に上らず各店閑散を極め居れり殊に一時一日平均二百名に近き滯在者あり其後益々増加の傾向ありし新岩洞は虎疫發生以來頓に激減し居住者中に家族を擧げて一時奧地等避難するものあり日鮮人通じて不景氣を感じつゝ殊に旅館料理屋等は頗る閑散を極められ而して一

日本は二度食の國

太古は朝十時と夕五時の二食なりしが、吾國は古來上は天皇より下庶民に至るまで食事は二度なり朝廷の事は「寬平御遺誡」「延喜式」「醍醐天皇の御日記」等にも記してあり、「日中行事」など讀みても知れる事にて朝は巳の時といへば（今の前十時）夕は申の時といふから（午後五時）なり、いつの頃より三度となりしや「源氏物語」には三度食べる事を記したれど一般の事にはあるまじ德川時代中頃に至りて町家は朝夕は一汁五菜の膳にて三度目の夜食は菜の數も至つて少なくホンの腹ふさぎと云ふさまなりと云ふ八代吉宗將軍は一代の間二度にて濟ましたる由之れは古へに據りしものと云ふ武家の時代には一人扶持と云へば一日五合なり一度二合五勺と定まりたるは二度食なりし證にて武士は二度食が故なるべし今日米價が高し一般に二度食をすれば大きなる利得なるべし（刀劍と歷史）

商況

株式

東京株式（至急電報）

	廿二日前場寄付	前電比較
東株	四五三、〇〇	一八、〇〇引
同新	四二四、九〇	一四、〇〇高
郵船	一九九、六〇	五、〇〇高
大阪商船	一七九、〇〇	二、〇〇高
商船	一四七、九〇	一八、〇〇高

大阪株式（至急電報）

	二十二日前場寄付	二十日後引比較
大株	四二三、〇〇	五、五〇高
同新	四三〇、一〇	五、二〇高
商船	二九三、一〇	五、六〇高
同新	一九三、九〇	同
同紡	一五九、六〇	二、五〇高
鐘紡	一九五、〇〇	一、〇〇高
東新	一六五、〇〇	同
同新	四一九、〇〇	二、〇〇高
東株	三〇八、〇〇	一〇〇高
常米	二〇三、一〇	一、八〇高
上取	二〇三、九〇	三三、五〇安

京城現株（標準値段）

	賣値	前日比較
仁取	三二、〇〇	△一五、〇〇
朝郵	三六、〇〇	△四〇、〇〇
電興	三〇、〇〇	二〇、〇〇
皮革	二五、〇〇	六、〇〇
東畜	二五、〇〇	五、〇〇
朝紡	三一、五〇	△三、〇〇
朝紙	三三、〇〇	四、五〇
商銀	三〇、五〇	五八、〇〇
同新	三三、〇〇	一八、〇〇
滿毛	三二、五〇	四二、〇〇
滿糖	三七、〇〇	△二九、〇〇
朝鐵	三〇、〇〇	△二〇、〇〇
朝煙	三六、〇〇	△七、〇〇
鮮土	三一、〇〇	△二二、〇〇
東亞	三一、〇〇	△四、五〇
仁倉	三三、〇〇	三、〇〇
黃貨	三五、〇〇	一、五〇
朝粉	三三、〇〇	一九、〇〇

出來高平均値

	平均値	出來高
上海取引	六五、〇〇	四〇
日本郵船	三〇六、〇〇	二一〇
久原鑛業	五六、八〇	二〇
電氣興業	二〇、〇〇	二一〇
朝鮮紡織	一四、〇〇	二一〇
瓦斯電燈	三一、五〇	三〇
東拓新	一八、五〇	五
殖産銀行	八二、五〇	三〇
東洋製鐵	一〇六、五〇	一四〇
滿蒙新	四四、〇〇	二〇
朝鮮煙草	一七、〇〇	七〇
南滿製糖	八二、〇〇	五〇
仁川倉庫	一五〇、〇〇	九〇

東株續て躍進

東京株式は常に大阪に先走りて高値を出し大阪をして餘儀なく追隨せしめ居れる觀あり今朝の寄付も前日朝に比し東株十八圓方高の新東十一圓四十錢方躍進し四百五十一圓三十錢となりて一段の賣方をして冷汗せしめんとする概を示せり又滿鐵も爲株は仲々鈍きも一新二新は連日優勢にして一新の二圓十錢高二新の二圓八十錢高は特に目立ちたり

堂島米株暴騰

最近大株東株増資運動に伴れて又復東京米穀商品取引所も増資の必要迫り居れりと傳へらるゝに至りしより之に關係して堂島米穀取引所も亦之に倣はざるを得ざるべしとの氣構へなるか同株は休日前の引値百七十圓四十錢のもの今朝は突然大爆發を演じて百三十圓九十錢と寄付き實に三十三圓五十錢方の躍進なりき

殖銀は拂込高

殖銀株は今朝遂に百七圓迄の高値を見るに至り然し三日中に商内を見るに至り此三日中に十圓方反撥を演じたるが右は來る十一月初旬第三回拂込みを爲さしむるとの説あるによるものにして大體に落付たとの説ありとの噂もあり

紡織電鉄踏退

紡織電鉄は最近買氣薄らぎ誘起し紡績三十三圓へなり、もの一圓五十錢にて二百枚電興の二十二圓四十錢の商内あり八十二にて四十

て増資、地近におらん、この気構へより買氣を催ほし居れるもの如し

株

確實なる利殖法は確實なる現株に投資せらるゝ事なり少額の資金にて何時にても御用命の御方は低利信託の御相談に應ず

京城府大門通二ノ三二

浦長商會

電話長一七三七番
受信略號（ウラウラ）

仁川仲町一丁目電七六九

同　仁川支店

株

紡績株續騰

取引所株以外に於て特に異彩を放てる物は相變らず紡績株にして之れ等は例の如く越ケ谷半筋の買ひ後へによれる紡績騰を示し居れり時の紡業界は支那市場を中心として列國の大競争行はるべき將た勞働問題等重大なる收益關係ありと見ても紡績會社として全體の增資價の增資の傾向に出でんとする傾向ありて之れ等を基礎として一見あるに至れる疑ふべくもあらず

五百圓目標

東京高に呼應せる大阪連日の暴騰振りは確かに大相場の色彩濃厚なるものありとせられ買氣は只利食の外に何か滿しな物として居れる市場の二分の一分の二、三割の利合を示し相當の状勢にして是を買ひに進み

人氣の狀勢に

依つて當局者の意見は區々

となりて居る

北濱だより

高いと思つて買つても忽ち安くなつて終ふ相場のテッキは確かに好い氣を云ふ人の道理だ
資も決まつて居るらしいと今の人氣に對し事なきにも相違ないのは東京米穀取引所の增資問題である△一同所の現在資本金は三百萬圓で曩に三百萬圓だが以前に商品取引所から増資を云ふ餘り多くない資本金だから今度の分らないは事實らしい△勿論之が決定すれば左右どうなる額

米況

東京期米特電

	廿二日前場	同後場
寄付	三十七圓八十六錢	
中限寄付	三十七圓三十二錢	
高値	三七、一五	
安値		
止め		

大阪期米特電

	廿二日前場	同後場
限寄付	四十圓九十九錢	
中限寄付	三十九圓八十一錢	
高値	三八、二二	
安値		
止め		

神戸期米特電

	廿二日前場	同後場
寄付	三八、二二	
高値		
安値		
止め		

下關期米特電

	廿二日前場（晴）	當限	中限	先限
寄付		四二〇〇	四一二〇	三八一五
高値		四一〇〇	四〇五〇	三八六〇
安値		四一五〇	四〇六〇	三八四八
止め		四二〇〇	三九五〇	三八五二

仁川期米

二十二日前場

二高一低仲悩む

今朝天候西風にて晴天各地入電は軟なるも一昨後場阪地の止高を據り込みたるが四十二圓三十錢方の氣勢を挫かれ當出來來る故か當朝の仲値は一斉に五錢方上伸し先四十二圓六十錢より七十三錢と上伸せしも戻り有て聯合筋の羽音嫌氣に押し九十六錢と押したが第一節當限の中に五十錢三十錢より八十錢と五十錢の始め先七十二錢より八十錢の反撥せるが節安値止め引に逢ひ五十錢と小瓜日中付き下の第二節當限の中限は四十五錢と三十五錢を小五錢とせり十一錢よりの上伸を示したるは仲々の手堅く引續き出來不勢先五十錢から六十錢と新甫の安値に下り大阪の十二十錢の大下落の大勢を示した高き安値押の一と氣配を兎角に遠ざかりと第二節四十錢と三十錢の追上も前場の引けとなり

底意頗る強硬

一昨後場は阪地を無視したる聯合筋は人氣を壓迫したる大阪の前場百八十錢迄に縮少したるより今前場は採算筋の買物と見れば現は六十五錢より八十五錢と押し入りて中場は二十錢の寄電の早耳に因り安氣配に至りしも二十錢の押したる大阪の漲價米の反撥相場迄の寄り節と比べ三十八錢にも三十錢の安値迄東京當限の軟化せしが打止め

市場雜觀

過日釜山中村、仁川力武其他一二の勇將が買聯合を爲し第一の戰に少々の利益を得せしが幸に今回は人氣に逆行して、聯合買出動ご氣頗る阪地の高を見て場面は頗る重く仲悩みの光景となりヤバラ筋の買方をして憤慨せしめて居る併し今回の聯合買りは少々相場の律を破つて人氣的に流れて居るが此は此の問題で内地の定期高いが肝心の正米も毎日三十丁乃至五十丁の反撥を示して來る此の調子を除むるこの如何な事かと思ふ事もある節に舊策戰の如き氣持もするでかの過ぎた策戰の大勢が人爲的に壓迫が出來得る者ならば程當局者が緩和策に苦心する必要もなく又當時の如き取引所大問題も起らず幾十人の仲買を斯く迄若しめる事もなく年大阪高見一派が四百萬の資彈を持つて大勢に逆行し仲買界に好みて失敗に期した等相場界に好き教訓を貽して居るではないか夫れに釣瓶掬ひに行き戻りを利

	相場	公定
寄付	四〇、六五	
高値	四〇、五七	
安値	四〇、三五	
止め	四〇、八五	

本日出來高

當限	千三百石
中限	三萬八千石
先限	四十三萬四千石
十九日出來	四十八萬四千二百石

現

特約店　東京紅葉屋商會　米山合資會社

公債株式現物賣買

髙松商會

京城府黄金町一丁目一〇

電話長三〇八五

電略受信ケイゼウヤマ三（又ヤ三）

現株　内地株地株とも常に好出合あり

賣買　着實迅速に御取扱可致候に付多少に不拘御用命を乞ふ

株　買

白米引締め亂調

白米は續いて内地注文引締らず大阪仲著の五十二圓五十錢にて若干商談成立せしもの元より山方面も又騰貴り五十圓位の高値に買ひ望みありて何れも地場値段より好採算なるのみならず原料の聯合みと買附意の如く運ばざる際前中の注文引受け筋は二十錢方値を引上げんとしつゝ至り其の今朝一二の大手筋に於ては三十九圓八十錢を唱ぶるより至り其他へ精米所も二十錢高の三十九圓見當に引締めたる現下の値開きより最も亂調の振合ひは容易に見込に至らず十錢方を見込み邸が亂調の振合ひなるが眼先原料の引手の引上けを餘儀なくせらるゝならん

白米の値開きの折から既に米價は騰勢を高めて上品に比し却つて採算割高になりて何れも自然上品を買望むも此又上品が因物品だ乏しきが如く何れも格好品の買附に腐心しつゝあり

ば地捕玄物四十圓五十錢見當を持合ひの姿にありて金入れ品は可成りの買物ありと雖も相切れ歩減りの程度著しく且つ一等白米の原料に充當仕難きもの入當るより米筋の總ては自然上品を

京城正米市場

日曜前日の内地期米高氣配を受けたる儀先昨日曜中の大阪電報は買方堅さへ切れぬ鐘入れ不足氣高との内氣配を移したるより當正米市場の人氣は日曜越しの期米高を豫想して強硬の唱へなりしも今朝は逆に大阪期米の安報を入れ、仁川、鎭又聯合買の壓迫に兎角下値に走らん傾向を示し且つ釜山正米の安電を移すなど當地は依然强含みながらも駈か氣配呆けの振合ひを示せり聯合附出しの出來品は地捕玄米五十三叺三十九圓八十錢千三百十叺四十圓五十錢一百六十叺四十錢にて標準相場とされ

仁川正米市場

高期米市場は聯合買の壓迫に制安を維持せるが正米界の人氣は斯る人爲相場には一向無頓著にて依然强硬を固執せり今朝は二三十錢高の買人氣なるも手持筋は容易に賣急がされず更に纏まりたる商談行はれず來客金圓力武買にて三等合格並玄米三百叺物は四十三圓三十錢見當に望口あるも賣應せず其他地捕玄米三等四十一圓五十錢チョンボリ四十四圓五十錢處の賣望なり碎白米は天日與田貿麿澤貿の三十九圓五十錢にて六百叺出來せり▲大豆は氣配强硬四五十錢高を唱へ今朝は龍山物三百叺三百六十叺白川物二百三十叺を平均十九圓十錢替にて馬山物三百五十叺を平均十九圓十錢替にて釜山正米市場精米所賣松本商店に取引出來し跡人氣更に高唱へなり

釜山正米市場

内地期米日曜越し五十錢安を入れしも市場は手堅く保合ひ三等神力四十三圓五十錢處にて四千五百叺出來せり大豆は保合新大豆二十錢安二十四圓八十錢處の商内あり（廿二日釜山）

支那粟持合ひ

支那粟は一昨午後營口五百十袋十六圓の出來を見たる後殆ど取引行はれず人氣は在荷兇れにて小頃に迄落込みし本品として此然調を脱せざるも既に相當の無價にも下押し兼ね今朝は海城物十六圓五十錢見當を持合ひ唱へにて先物は多少望人ある丈けに現物に比し聢かりの觀あり

大豆小強し

大豆は手持筋の高張り居れる際秒出の弗々望人現はれ幾分小强き人氣なから高値は採算上强い安まず午前中は商内皆無なりしが見當としては龍山三等品の十九圓七八十錢を唱へ居れり

大阪竹原商店特約

東京山一合資會社特約

公債株式現物賣買

新田耕市商店

京城櫻井町一丁目

電一八一一・三九〇

三品

廿二日前場		
綿布三品	九月限	十七圓十五錢
	十月限	五八一、一〇
	十一月限	
	十二月限	
	一月限	五三八、五〇

洋釘眼先高構へ

洋釘は米國品の高値と輸入狀態弗項金物類と同樣に在荷又棉底の折柄住友伸銅所に於る岸本釘工場の買收等も多少の影響を及ぼし阪神地方は最近各時々通じ一圓乃至一圓廿十錢方の昂騰を報じ當地は既に廿十錢方の影響を蒙むり居れるが目先尙近に接近せんとする傾向あり

はに痛腹と痢下

健胃固腸丸

惡疫流行の兆ある際　家庭にも旅行にも必ず御用意　常に用うれば消化を能し專ら腸胃を强健にし恐しき流行病惡疫に罹る憂なし

藥價（拾錢、廿錢、卅錢、五拾錢、壹圓、參圓、五圓）

本舖　大阪　東京　谷回春堂

各地藥店に販賣す　商標と名稱に御注意

伊達騒動

第九席　小金井芦洲講演

兵部と甲斐の密談

お席に案内をされて最も鄭重なる御待遇、兵部殿が夫れへ出られて　兵『オ、甲斐か　甲『ハ、ッ、これは御外家様、今日は御懇なる所の御案内を戴きまして有難う存じます　兵『年若の身で江戸國務奉行役を相勤むる、嘸かし勞れも激しいことであらうと心得て不手前ながら粗茶一服を立てよう、聊か其方の心を慰め遣はさんと存ずる　甲『エーッ恐れ入りました』是れから茶が濟みお席が變ると御酒だ案内されて入つたお座敷は實に立派な者で床の間を見ると中央が大織冠鎌足公の畫像、右の端が山影中納言、左が伊達大膳太夫政宗、兩彩色で仕上げたる目の覺めるやうなお品が掛つて居ります、兵『如何に甲斐、此の苦心をいたした品だが漸く近年出來いたして斯く表裝をした、ごうだ死ら生けるが如くであらう、此の一兩年予は朝な夕なに侍いて禮拜をいたして居るが、偖て今は是れも變て相成つた、今や此の伊達二世の名家も他人のために奪はれて祖先の怒りに觸れるかを思へば誠に面目次第もない、アヽ時節こは申しながら止むを得ぬことにてある』こホロリと落す一滴　甲『仔細有り氣の此の一言、甲斐は頻く考へて居りましたが　甲『恐れながら以前よりの御待遇、又云ふ味有り氣なる唯今のお言葉、私を御家奉行職こ思召すに由つて殿分に御遠慮なおあり遊ばす、何卒御家臣こ思召てお心置きなくお話を願ひたう存じます　兵『ウム喜ばしき所の其の一言、然らば甲斐物語りを致すが本家の血は先代までにて其正統を失つて居る、其譯如何となれば當代の綱宗は水澤將監の娘に宿り、妾腹、殊更その行跡を見るに彼は性愚にして奥羽三箇國六十二郡の大領主六十二萬石を司るは覺束ない、家の行末を思ひこを思つては予は眠つても寝付かれない、願はくは天晴なる所の血筋の者を以て相續をさせ、長く伊達家の榮を見たく心得るが如何である』甲斐心中大いに驚くと雖も更に顏の色にも出さず、兩手を突べて　甲『ハ、ア仰せ御道理の至り、妾腹三代家が繼けばその血統を失ふに至ること、御外家様は伊達瑞巖寺殿の御公達、而も御本腹に渉らせられます、市頭はこれ亦御一家様の御嫡子瑞巖寺殿の御孫君に渡らせられます、且つ爰に幸ひなるは御大老酒井雅樂頭殿息女を御迎ひになり漆膠も啻ならざる御間柄、御一門が巧みを以て外より手をお廻しになりますれば身ながら内を納めて能く〳〵取持ち候へば必ず〳〵此事は思召し成就致すべく、去乍ら取急ぎ候事は却つて過ちあり、徐つて徐々に計り必ず共に急ぎ給ふべからず』兵部欣然こして甲斐の手を取つて押戴き　兵『天晴なし、汝の一言を聽き我れ等宿年の鬱を散じたり、萬事其方に頼み入るぞ、是非々々市頭を以て本家相續をいたすやうに取計らうて呉れ　甲『委細承知いたしました　お心易う思召され候やうに……』こ甲斐が一言に兵部の心に觸つたのも、自分に大野心があつたからでございます、是より双方膝進ませて密談に耽ること數刻、既に夜も明けの頃に至つて甲斐は仙臺坂の兵部の屋敷を辭し戻りました、所が當主の綱宗と云ふお方は兵部少輔は愚かこ云つて居りますが、何うして愚かでは無い、林大學頭道春の教へを受けて學識深く、武藝十八般何事に由らず心得られ、大酒ではあつたが御慎み深く當代の名君でありました。

朝鮮軍司令部 衛戍病院 御用 牛乳　京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

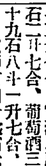
釜山酒造石數

釜山府に於る大正七酒造年（自大正七年九月至大正八年八月）と云ふ）酒類査定石數狀況を聞くに清酒にありては酒造家十三にして此査定石數九千零四十二石八升五合、濁酒六百戸の酒造高百九十四石七斗四升九合、即ち鮮酒八千七百零八石零八升、同燒酒四戸の三十二石七斗六升、燒酒二十六戸の石數一千二百三十三石斗四升一合、白酒一戸二石五斗三升七合、味淋八戸五百零八石二斗七合、葡萄酒三戸二百二十九石八斗一升七合、ウヰスキー二戸百四十七石六斗七升六合、ベルモット一戸一石、人蔘酒一戸五石、規那鐵ブドー酒一戸一石六斗八升、再製燒酎三戸十五石九升、合計二萬零百二十二石九斗五升二合にして此内稅率に因るものの一萬六千三百八十四石七斗二升、此稅金六萬四千五百八十二圓零五錢、新稅率によるもの四千七百三十七石八斗三升二合、此稅金一萬二千百五十九圓三十錢なり（釜山）

アラ貴女も胴着に福井の内裕へ二重ナノ肩うら袖うらこてもよろしいノネ……　本町三 玉屋本店にあり 電一七五二

勤務演習召集期

龍山に於ける下士兵卒の第二回勤務演習召集期は下士は八月九日、兵卒は同十五日の豫定なりしも豫定の爲め延期となり居たるが今回下士は十一月一日兵卒は十月八日入營の事に決定し又右鄉將校丁種勤務演習中經理部將校は十月十五日首山停車場十六日鐵嶺附近の三回に本部將校は十一月十日より同三十日迄の間に於て安東に於て施行の事に決定せる由



九月二十四日

（舊）八月朔日　水曜日　つちのえさる　內外　劒成亥（西北）△友引　建　破

秋季皇靈祭・八朔

▼六白△縫ものを防ぐべき日なり
▼七赤△親みのある日にして物事を控へ起さざれば物事纏るべし
▼八白△吉凶の日にて何事も謹ふべし、酒食を嚴に慎むべし
▼九紫△急がば廻るべき日なり
▼一白△男女間の事にて損失をる事あるや知れず他は凡て吉
▼二黑△賑やかなる日にて萬事に吉なれど心驕れば災あるべし
▼三碧△誠實に爲るは醜あらば
▼四綠△成るべく耐ゆるが得
▼五黃△吉き日にて思ふ事成れ金錢の出費も甚だ宜しかる日也

ね小便と小便近き人へ

每日來る尿の發見の療法あり今回人助けの爲めハガキで申込の方へ無代進上す　京城本町橋筑地町 救世院 電話橋二九七六

驚くべき効キクこ全者の狀が毎

マラリア特効丸　効能實證ニシテ賞讃ヲ博セル 定價表金拾錢貳拾錢參拾錢五拾壹圓 郵稅金貳錢

販賣店各地有名藥店

本舖 林藥房 京城本町二丁目

代理店 釜山辨天町 山岸天佑堂
代理店 平壤大和町 大黑南海堂
代理店 森田草藥堂

演藝案內

喜樂館 本町一丁目 電話九九七番 番組改　當る九月十九日より特別映畫提供 米國メトロ會社大傑作 歐洲戰亂第二報 探偵活劇『赤鼠』全五巻 △人間が生存を全ふするに苦しい肥腐が生きて行かねばならぬ罪惡こ善惡の鬪ひか我々の生活の凡てであらう……こ思ひます社會の暗黑面をパックに色彩を鮮明に描寫した探偵活劇

日活會社特作品 お伽漫畫『桃太郎』全二巻 日活京都派本春新規大撮影 尾上松之助中村扇太郎以下大合同劇 大保水滸傳 勢力富五郎 貳百餘場 ○天保年間關八州の大親分國定忠次の乾分として数と稱せしめた勢力富五郎を主人公として一夜に百三十餘人の死傷者を出した笹川村の大喧嘩を發端に最後の最後から富五郎の鐵砲腹迄 ▲今週より毎日正午開館 晝間正十二時より夜間六時卅分開演

浪花館 京城明治町 電話二六〇 浪花館 京阪落語大一座 日本チャプリン 當る九月十六日午後六時開演
▲落話 お出歌舞 桂都女助
▲昔ばなし 桂都太郎
▲人情噺 桂文朝
▲落語音曲ステ、コ 桂小都雀
▲西洋舞 メリー嬢
▲落語音曲歌舞 桂春松
▲長唄曲 二上り舞 柳家都美子
▲落語珍藝百出 三遊亭一圓若
▲落語扇子舞 桂枝三
▲娘義太夫 竹本東昇
▲人情噺 [illegible] 桂都雀
▲奇術曲藝滑稽親玉 日本チャプリン
本興行は藝術の粹を集めし大一座殊に日本チャプリンの滑稽は抱腹絶倒

壽館 本町二丁目 電一〇五〇 當る九月廿日より 東京大阪歌舞伎岩井半左衛門一座
前　稚兒捕幼會我
三日目　切　春日の夕神樂良辨杉由井ヶ濱まで 出演俳優(不順) 諸治郎△市川兵之助△市川賀川△岩井玉之助△市松之助△中村左兵衛△岡田△中村右加枝△中村東代△千郎△中村兵衛△松太郎△中村右晚△片岡千代次△岩井求馬△中村門△岡蔵△中村駒蔵△中村半左衛門

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞會社代理店 當る九月十九日より選抜大寫眞提供 ▲實寫『信越の雪』 長尺 米國エッサネー會社特作 活劇 デブ君の大名譽 米國メトロピクチュアー會社大傑作 軍事活劇『大威力』全五巻 ▲獨逸より米國に歸化せる一青年世界の火藥を發明せんとせしが資金缺乏困却せる際妙齡なる女醫者の援助により完成せし[illegible]

捨て置かれぬ ふとり過ぎ

身體を害めず程よくやせて中肉堅體の美容姿こなる

男でも女でも隨分世の中には肥え太つた人がある。殊に年若き婦人は太つて居るさ老けて見らるゝしや「三平二滿」だとか「豚」だとか惡口をいはれるい苦しきは顏貌患者ではないかと疑はれ、知らぬ所へでも行くさ立派な命嬢も下女と間違へられる。自分では一生懸命お化粧もすれば着物も着飾るが太つてゐてはその甲斐がない、のみならずよく惡口に云ふ宗鴨が裲襠を持つた樣な風體さなつて仕舞ふ。それが爲めに學問もありお金もあり餘る程の財産家の令孃もお嫁にゆく事も出來ず、可惜花の時代の二十歲前後を徒らに過ごして容色は益々惡くなるばかり遂につまらぬ人の妾になつた例も澤山ある。婦人は矢張り背は細そり柳腰の美人の方が望何程だが知れぬ。たゞへ男子でも肥え過ぎて豚の樣では決して見よいものではない、それに第一太り過ぎた人、身體が〆壯でない

井上醫學博士曰く

肥滿の人は心臓が障害されて臓腑の不整理に結節に變し熱病に對する抵抗弱くなり肺臓も運動も隙害せられ氣管支加答兒に罹り易く往々消化不良を發し胃腸に罹つて又時として「腦溢血・糖尿病・腎臓病」等を併發する事あり(中略)後不良(井上内科全書)

筒井醫學博士曰く

オベシタス肥滿症は行困難、心悸亢進、呼吸困難其他心臓衰弱脂肪過多、血壓血管破裂等の諸險々の症候あり(中略)肥滿によりて[illegible]る事あり(臨床醫典)

自分では何でもない様に思つてゐるが此二博士の說を聞かば安心して居られぬ事が分るであらう、まして樣豚の樣だなぞこ人に笑はれるもの亦誰だつてそれが治つて一日も早くスラリとした美しい身體になりたいこ思はぬ人があらうか

堅體丸の發見

晉て本社に宛て一通の郵便が來た上書は優しい女文字であつた私は今年十八歳、相成る誠にふさり過ぎて日々苦悶、堪へず他のやせたお方が見ると實に羨ましく存ずに一人思はず涙の落つる事もあります、やせてすらりとしてゐる人などは自分を見て笑顔をされば、いさは存じながら自分の顏が可笑しきものにひがみます。他の朋友があてがりと私がたいなタケケさかさか身より顏の方が高いさか丈くらべなら樣から云はれた事か、事つてあてこすり云はれた事もこれ迄幾度あつたかわかれません。あゝ自分程つまらぬ者があらうかなぜ自分はこんな肥えるでん、幸ひはれさ夜も中分は眠れませぬ御藥を下され度く……

尤もこれまでにこんな註文は度々あり重々斯くし而度ござい、[illegible]

堅體丸の効力

堅體丸は他の無責任なやせ藥と全く異り決して身體を害せずに細らせる。いふのが大特長で、太つた人の體内にある有害性の脂肪、其他……の發育を阻止し[illegible]等を體外に排泄し細胞組織より分離せしめ之を細くしたる作用があるから[illegible]すんなりとした美しき中肉の體格となる。又身體を壯健にする藥として推奬す。

一、堅體丸の作用は「[illegible]」ラリとして美しき姿態となる。

一、肥滿より起る月經不順諸病の肥滿者も堅體丸を服用すれば通り

堅體丸を服用せば「身體拔せて骨を皮ばかりになりはせぬか」とか「一度痩せても再び太りはせぬか」などと心配する人もあれど決して然る心配なければ安心して服用せられよ。

藥價と註文法

堅體丸の定價は、十日分金二圓七十錢、廿日分金四圓八十錢、卅日分金六圓七十錢、四十日分金八圓五十錢の四種ある太った人は二十日乃至二十日分にてよけれど肥滿激しき人は三十日乃至四十日分を求められよ。註文の方法は振替貯金又は郵便爲替にて藥價を直接に御送金を又ハガキにて御註文次第直に代金引換にても發送す

筒井博士の說の如く遂には短命に終らねばならぬ太つた人は何時迄も躊躇せずに早く注文されたし。大いに恐ろしい病氣を豫防する事あり、さしては生命をも保ちます思ひ立ちしが吉日一日も早く本劑を用ひ堅牢にしたるスラリとした中肉、美しき體格が出來る無比の御身體でならる樣くれぐれも御勸めいたします

發賣元　東京 四谷區 千代田製藥合會社 振替東京六一三九番 電話番町三三〇番

安全第一のかぜねつ藥 アンチピリン丸

蛇印　強大なる効力　かぜを治し ねつを解き 發汗鎭痛の効力

■三大特長 最新高貴原藥を配伍す　絶對に副作用なし　胃に溶け易く効驗偉大

■主効 ■かぜ、ねつ■はやり かぜ■はしか■リウマチス■ホコリ■頭痛其他熱病一切の諸症に卓効あり

藥價 十錢より壹圓迄各種

滿七歲以下のコドモのかぜ、ねつ、には小兒專門解熱新藥「オイン」に限る。

藥價 十錢、二十錢、三十錢　△全國各藥店に取次す

本舖 大阪 東京 丹平商會藥房

乳出藥

不思議によく效く

乳の出ないで苦心の上試驗したる乳ハ藥（乳の母）は配劑細き方は一週間服用すれば牛乳ミルクも忽ち不用となる不思議に効く妙藥なり乳の出なくして御困りの方は一早くハガキにて申込みあれ誰にても無代にて御知らせす

大阪市東區東雲町 停留所前 乳の母發行所 井上神社側 いづみや藥房

アフロン

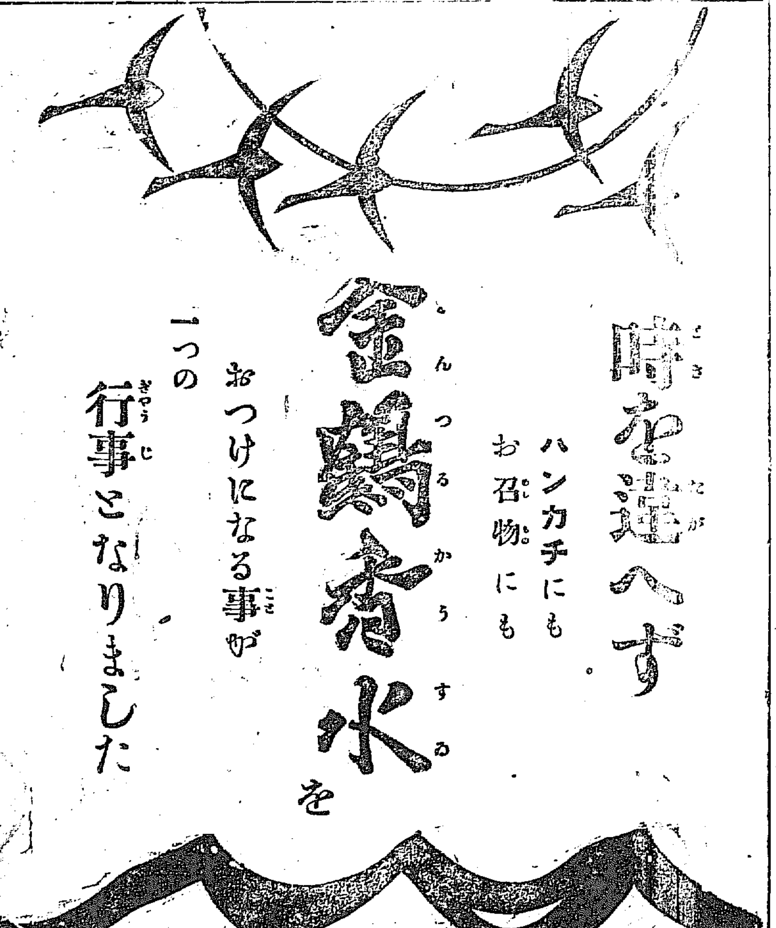
神經强壯劑（最新陰萎特効藥）

アフロンは老衰性及び神經衰弱から來る陰萎・射精早漏に顯著なる効果あるのみならず一面健胃强壯の効能あり

定價 一圓・二圓　全國藥店にあり

東京室町三丁目 泰昌製藥株式會社

大賣捌 黃金町長橋町入口 電話一二九二番 田村賣店 商品並價格取扱雜貨



時を違へず

ハンカチにもお召物にも

金鶏香水

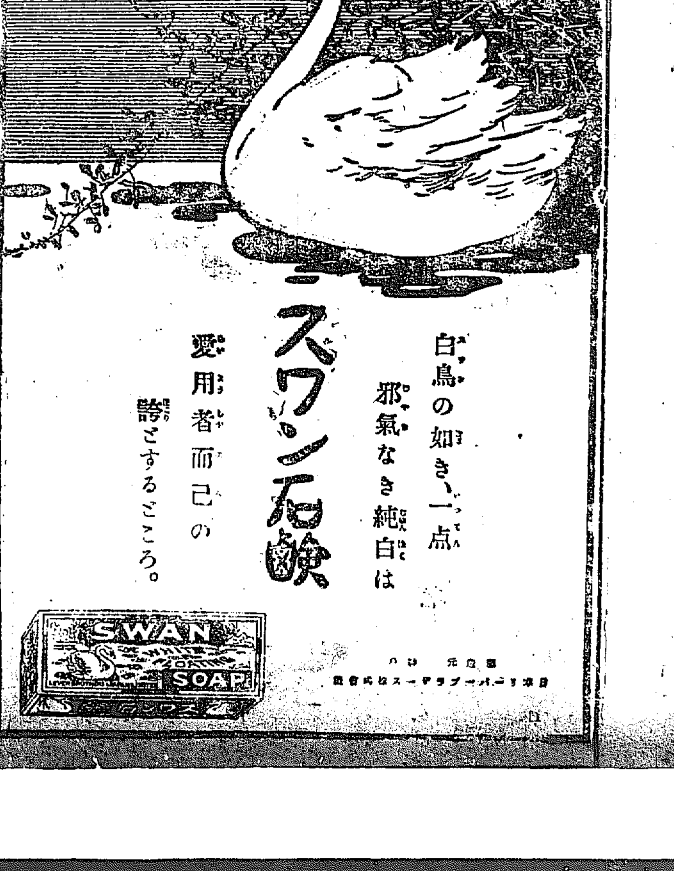
をおつけになる事が一つの行事となりました

花王石鹸 大阪 花王石鹸 杉本 代理店 大崎組商會 東京 花王石鹸香水 代理店 長瀬商會

醸製せるその香味 …知る人ぞ知る… これ世界の名酒！

ヘルメスウヰスキー

特製丸瓶



白鳥の如き一点邪氣なき純白は

スワン石鹸

愛用者而已の誇さするところ。

發賣元 日本リーバー・ブラザース株式會社

京城日報 第五版
（年中無休刊）
京城太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社 編輯兼發行人 印刷人 電話番號 長六千九番 振替京城三〇〇番

事業界の趨勢

◎最近事業界の趨勢は財界漸く順調に歸せると緩慢なる浮動資金相當保留されつゝあるため今秋經濟界理論上戰後に於ても尚架空的事業の勃興なる企畫なきに非ざるも概して順逆の境を越ゆ漸次堅實なる發達を示しつゝあり唯増資擴張既設事業の進展策は一方物價が通貨の膨脹に伴ない更に低下せざるを以て未だ擴期の投資的行業の如きは何れも金融關係上用の妙を極め嫌ひあるも銀行の増資擴張を促進せられ殆ど最近各社競ひて資本の増大と預金の事業を演出するの形勢を呈現せるを見るに至れり

◎而して去る八月中に於ける新設擴張事業計畫資本額は合計五億一千三百九十二萬九千圓を算し、内新設三億九百二十三萬圓擴張二億四百六十九萬八千圓の振合なるが之を前月に對比すれば新設に於て四千六百五十三萬圓を増加せるも擴張に於ては八千九百五十六萬六千圓の減少を示し結局合計四千三百三萬六千圓の減少を示すに至れり之れ畢竟物價の騰貴其他の關係に依るものにして事實に於て企業の不振を告ぐるものに非ざるは各種事業別の内譯を見るも明かなり斯くして本年一月以降の累計は新設十三億六千六百九十五萬圓擴張八億四千三百八萬四千圓合計二十二億一千三萬四千圓となり之を前年同期に比せば新設に於て一億七百三十二萬九千五百圓三十萬五千九百圓を減少せるも合計額の上にては四千四百二萬三千六百圓の増加となり居れり今八月中に於ける各種事業の種別に資本額を示せば左の如し製造工業は新設に於て八千四百八十四萬圓擴張に於て九百二十六萬三千圓合計九千四百二十萬五千圓を第一とし之れに次いで商業其他の新設に就て五千十二萬五千圓擴張に於て四百一萬七千圓合計五千四百十四萬二千圓なるが銀行業の増資擴張頻出せるも遂は第三位にして即ち新設六百萬圓擴張四千七十五萬五千圓を算せり

◎以上の外航運業の合計三千六十九萬四千圓之れに次いで電氣業の同じく一千四百五十一萬七千圓、鑛業同じく一千四百四十二萬六千圓、信託金融業の一千百六十二萬五千圓其他は何れも一千萬圓以下にて鐵道軌道の六百萬圓、紡織業、保險業の各々二百萬圓餘、水産業、倉庫業も百萬圓餘なるが、何れも百萬圓餘なるが保險業道事業の新設皆無なると保險業の擴張の皆無なるは當然の歸結なりこいふべし尚ほ八月中に於ける解散會社資本額は二千三百六十三萬六千餘圓拂込金額一千三百九十二萬八千餘圓にして前月に比し資本金一千百九十二萬圓拂込額七百三十九萬八千餘圓を何れも增加せるが之戰時事業の整理一段落と小會社合同組織の變更を語るものにして一月以降の解散會社資本金額累計は七千四百六十四萬餘圓拂込金額累計は四千五百九十六萬一千餘圓なりこ

巴里會議の一班 （一）

海軍々令部參謀 野村大佐講演

既報の如く二十日午後南山町京城高女講堂に於て朝鮮教育研究會主催海軍々令部參謀野村吉三郎大佐の巴里會議の一斑と題する講演ありたるが其大要左の如し

私は昨年十二月上旬牧野男一行に加はつて出發本年一月十八日巴里に到着し、其の後六箇月餘同地に滯在六月二十八日の獨逸の講和條約調印を見た上で米國經由歸國したのである。此度の巴里會議に於て協議された事項は御承知の如く大體二つに分れて居る。即ち獨逸其の他敵國に對する戰爭の結末をつけ平和を永久に保障する、戰爭なるものを絕對に避けることは不可能なるにしても能ふ限り是れを防遏し少くしようとすることゝであつて、亞米利加は特に後段の方へ力を注いだ。亞米利加は其未だ大戰に參加しなかつた時代から世界の平和と云ふことに就て[illegible]力しようとする意志を發表して居たのであるから巴里會議に於て所謂國際聯盟の成立の爲めに非常に努力したのは當然のことである。佛蘭西の如きは最初國際聯盟よりも或る種の同盟を作らうと云ふ意見であつたがウィルソン氏は、併し同盟とするとなると軍備の擴張を促すことになるから矢張り國際聯盟でなくてはならないと主張し又英吉利も初めの間は賛否が曖昧であつたが結局聯盟の成立に力を盡すことになつたのである。さて先づ戰局の終末を附ける所の對獨講和條約に就ては日本の各新聞でも隨分激しい批評があるけれども、要するに聯合與國と云つても國同志の間に利害を異にする事柄が少からずある佛蘭西の如きは此の度の講和條約を以て恐らくは餘りに和らかい平和だと云つて居るであらう、一方亞米利加に於ては頗る早計なる平和だとして居るかも知れない。各國各々其利害から見て不平がるのは止むを得ないのであつて[illegible]失を折衷したものが出來上つた所の講和條約である。

生別死別

服部硯月

第四 隣室の咳

胸官等は砥上の言葉を聞いて何と答へて可いかに惑ふた。夫が同罪か、但しは後進に對して何事か慰むべき言葉の考へ付かれないこともなからうが、正説に一分の道理もあるし、又平素上官と奉じた人の口から聞いては、唯々恐縮するの外はなかつた。

『併し何時か乾坤晴れる機會が參ります』

『けれども諸君、事件其者は未だ終了して居ない、今日となつては調査が終つたと云ふものだ。まあ假に彼の能美山がだね、彼が後になつて僕に賄賂したのでないこと云ふ事が分つたとしたところで、裁判所にも警察署にも申告して出まいぢやないか、さう思ふと僕は今日の放免が結句遺憾に堪へない、僕は一生涯でも明姆の趣つまで監獄に居た方が好い！』

內田の慰める積りで云つた言葉も却つて砥上の説を確むるに過ぎなかつた。

折柄階段を上る跫音がするので一座は沈默した。

『お待遠樣、お誂へが出來ました。』

女中が襖を明けて酒肴を運んだ。

一番入口に近く坐つてゐた兇は鳥渡其の方を見返つたが、返事を出す勇氣もない。無言の儘席を少し讓つて杯盤を置くに足るだけの餘地を與へた。女中は其の僅の誂へ物を置いて下つた。外の所での女中ならば此場の光景に驚かされたかも知れない。けれども此社會には敢て珍らしくないのである。何れ獄裏の人に差入物の爲めや、面會に來るものばかりなので、段々斯うした光景に慣らされてゐるのである。

『おッほん』

誰もゐまいと思つてゐた隣室で、突然氣た、ましい咳拂ひが聲がした。

此方では隣室に人ありと見て一同氣を取直した。之をきつかけに芳三郎が肴み挾み、兇は猪口を分配した。

『父に代つて私がお毒味を致します。』

兇は自分の盃に少し酒を注いで一寸口に付けて

『さア、何も御座いませんがどうかお一つ。』

『いや、どうぞお國元の御親戚から……』

『私は家內も同樣で御座いますから、何卒貴郎方から』

『では御意に從ひまして……砥上が頂戴致します』

兇は一同に注いだ後、無言の儘父に對つた

平素少しは飲める忠雄も、此の場合酒を飲む氣もしないが、客に對する義理に盃を上げた

『皆樣のお話も承はりましたが、誠に御道理です、併し命あつての物種とやら、砥上君の健康で出られ、一同斯うして相會せられると云ふ事は兎に角祝さずにはゐられますまい。で砥上君の健康の爲めに一同乾杯しませう。』

永く村長の名譽職を勤めてゐるだけ、芳三郎は世事に慣れて此場合の執成にも機を逸しなかつた。

一同は芳三郎の時に取つての尤もなる說明に思はず杯を傾けた。砥上も強て半分ばかり乾した。

『さア今一獻、私は生來の不調法で御座いますから、お相手も出來ませんが、小父さんは飲ける方でしたね、少し御兩人のお相手をして下さい』

芳三郎は兇の爲めに從兄弟違ひであるけれど、年齡の關係上兇は日頃から小父さんと呼んでゐる。

『小父さんも年を取つてから若い時分程は行れん、併し之でも飲むとすると五合位は行くね、何うです酒井さん！一つ頂きませう』

『難有う御座います、お疲れの所を恐縮致しました。其の內又お伺ひ致します』

『まア御宜しちや御座いませんか、まだお早う御座います』

『餘り遲くなりますと、家內で心配しますから』

忠雄には何物か胸奥の琴線に觸れて、一種の不安が眉宇の間に閃いた。酒井は猶言葉を續けて

『何卒お身體を御大切に遊ばしますやう……』

『遠方の所をどうもありがたう』

忠雄は氣を取り直して、重々しい口に禮を述べた。

芳三郎と兇とは兩人を玄關に送つて出た。

[illegible]て杜絶の[illegible]る船舶に非ざれど輸出の不能は[illegible]ざる事に歸すに加ふ[illegible]明かなり茲に[illegible]造同業組合の設立あり[illegible]大阪船舶同業組合の設立あり[illegible]を憂慮し其[illegible]たる影響以て兩同業組合選出の[illegible]施行しつゝあり日淺くして未だ[illegible]左の如し

[illegible]商品本年は三月末に於て三千四萬三千八百十七哥此價額三千七百九萬七千五百十九圓に上り暴騰已むなきに至りイシム河畔に攻[illegible]

[illegible]七日我陸軍省に達せる情報に依れば最右翼トボリスク河の要點たるトボリスク市は過激派の手に[illegible]力第三軍方面にはイワノフ[illegible]リーノフ將軍の指揮する西伯利[illegible]功せるものと云ふべく爾後の追[illegible]哥薩克は敵の約一師團を粉碎し[illegible]擊を有利に進捗するを得ば一[illegible]

募集

支部代理店 部店

本商會ニテ最新發明品ヲ製造販賣致候ニ付各地方ヘ支部特約代理店取次販賣員ヲ募集仕候支部長ハ月給五十圓商品代價ノ三割特約代理店ハ一割ノ利益ヲ給ス商品注文高ノ二割ヲ配當スル規定ニ御座候地方ニ好適ニ候ハ直ニ御申込アリタシ

京城府授恩洞九二番地 鮮一興業商會

中學世界

十月特別號

□口繪―東京學生風俗
●生活問題以上 改造へ改造へ 三宅雪嶺 文學博士 中野正剛
□神經衰弱の療法 □西伯利に學生の死を弔ふ □私を叱つた先生 □苦學の歩める道
●新立志傳 舊き裏、新しき酒
「若い」と云ふ誇り
學生雄辯術
●小説 貧兒の哀しみ ●小說 寄生棘ある杖 ●小說 自殺した今江
高校入試問題 解答
●各高等學校罷市記 ●英文 ●太陽に見える黑點 ●病める友
定價參拾錢
東京市本石町 博文館

講師 東京高等工業學校教官

一年卒業 機械講義

新學期 會員募集 見本呈進

貳年卒業 特價拾圓

東京市小石川區表町一〇九 大日本工業學會

朝鮮彙報

大正八年九月號 定價廿五錢 郵稅二錢五厘

詔
口繪
前任總督及前任政務總監を送り新任總督及新任政務總監を迎ふ
朝鮮に於ける簡易鐵道の現況
在來棉田作付の改良
南洋視察談（承前完）

最新最良理想的中學講義錄に依りて立身成功の基礎を造れ◎時は今也速に斷ぜよ

大日本國民中學會

學監 尾崎行雄
東京神田駿河臺 大日本國民中學會

三段式 新教授法

砲火の戰は止みて智識的戰爭の時代は來れり此の新時代に處して成功の桂冠を獲得せんとする天下有爲の靑年は相率ゐて本會に來り學べ

三段式新教授法により新に編纂せる斯界空前の中學講義錄は僅少なる費用と一ケ年半の短時日とを以て優に中學校卒業の學力智識を獲得せしむべし

中學講義錄の本會に依りて中學講義錄の斯界に於ける價値は何人も先づ本會を指摘して其の國家的大事業なるを賞讚せざるはなし

講義が新しいから
會費が廉いから
講師が良いから
學制が正しいから
基礎が固いから
講師が善いから
卒業が早いから
成功が確だから

講義錄見本・會則つき 申込次第無代進呈

發明世界

一攫千金の新發明 無盡の寶庫を開放して諸君を待つ

毎月一回發行 一年分前金

東京上野池ノ端茅町 發明世界社

自動車

東京自動車學校
大阪自動車學校
福岡自動車講習所

建築技手大缺乏

帝國工業教育會

最新刊

法令經要義
工學義
近代情痴集
朝鮮地圖

大阪屋號

東洋拓殖株式會社新株募集

東洋拓殖株式會社新株提供

▲東洋拓殖株式會社は大正七年七月壹千萬圓の資本金を倍加して貳千萬圓となし、尙社債及借入金に依りて事業資金を補ふ所ありしも是亦忽にして消化せられ、緊急に資金の充實を計らざる可からざるに至りしこ相俟て、世界の大戰も今や終熄を告げ海外放資の發展を要するの最も必要なるを認め是等の方面に於ける資金の需用に應ぜん爲更に資本金參千萬圓を増加して五千萬圓となし、増加資本金に對する新株六拾萬株の內九萬株を公募することゝなれり

▲同社は拂込資本額の十倍に相當する社債發行の特權こ、大正六年度以降八年間政府所有の六萬株に對する配當免除の特典を有する外、外資の輸入に際しては元利支拂に付政府の保證を受くる等の便宜を有し、今回の増資に依り必要なる資金調達の準備を整へ更に一段の活躍をなし、新方面の開拓に猛進せんとす

▲斯の如き政府の保護監督の下に健全なる發達を見たる東洋拓殖會社新株式の『プレミアム』貳拾圓は會社の資産狀態より觀て其價格非常に低廉なるのみならず、現在の東拓舊株の市價新株付百貳拾圓を標準として算出するも、新株落株は九拾圓こなり、『プレミアム』貳拾圓は舊株『プレミアム』の五掛に當り之を他の新株式の市價八掛にて買ふとすれば參拾貳圓こなり、僅に拾貳圓の割安に在るものなり、吾人は凡ての點より本社の現狀と將來を觀察し本新株『プレミアム』の低廉を認め是を資產家諸彥に提供せんとす、希くは奮て御申込あらんことを

大正八年九月

大日本證券株式會社
大阪株式現物團

募集要項

一募集株數 九萬株
一募集金額 金四百五拾萬圓
一壹株ノ額面金額 金五拾圓
一申込價格 金貳拾圓以上（額面超過額壹株ニ付申込證ニハ額面金額ヲ包含セザル金額ヲ記入スルモノトス）
一申込株數單位 拾株トス（拾株未滿ノ端數ヲ附セザルコト）
一申込期限 大正八年九月二十三日ヨリ二十七日限（但シ期日前ト雖モ申込ヲ受ク）
一申込證據金 壹株ニ付金五圓
一募入決定方法 申込價格最高ヨリ順次募入シ同一價格ノモノハ按分比例ニヨル但シ端數ハ適宜之ヲ取捨ス
一募入確定證據金 壹株ニ付金拾圓（申込證據金併算）
一第一回株金拂込 金拾貳圓五拾錢（大正八年十月二十日限拂込）
一額面超過金拂込期日 大正八年十一月二十九日
一第一回株金拂込期日 大正八年十一月二十九日

申込取扱所

大阪株式現物團
大阪市東區本町二丁目 株式會社野村商店
大阪市西區阿波座中通壹丁目 株式會社高木商店
大阪市東區今橋貳丁目 株式會社竹原商店
大阪市東區北久太郎町參丁目 株式會社黑川商店
朝鮮京城 東洋拓殖株式會社
大連 同 大連支店
奉天 同 奉天支店

期米仲買店御披露

自己ノ爲メニ一切ノ思惑ヲ爲サズ絶對ナル御客本位、堅實ナル商方針ヲ以テ營業ノ本領トスル皆樣ヨリ御待乘ノ（マルアン）仲買店ハ茲ニ新ニ生レ申候

去ル二十二日（月曜日）ヲ以テ愈々蓋切開業ノ上御期待通リノ御滿足ヲ各位ニ供シ可申誠心努力仕可候間何卒多々益々御引立御用命ノ程奉願上候

大正八年九月二十日

株式會社仁川米豆取引所仲買人
（マルアン）仲買店
仁川海岸町三丁目
受電 仁川ニンセンマルアン
長電話 一三七・二六二・五五五・九二七番

航空條約調印期

航空條約は曩て巴里にて聯合國委員會に審議され我が國は陸海軍外務より各委員出席せるが此の程審議終了し近く調印を見るべしと(東京特電)

フユーメ政府密書押收

伊太利現政府彈劾案決議

フユーメ國境を越へて密送されたるフユーメ政府よりの書狀はミランにて押收されたるが右は伊太利國民に對しフユーメに於ける同胞を援助せん事を要請したるものなりと羅馬にてフユーメに關する國民黨會議開かれ現政府特にニチツ氏ギオーツチ氏の彈劾案を決議したり(巴里電報)

長途飛行決行か

伊太利詩人ダヌンチオ氏はフユーメ侵入問題に關し伊太利首相ニツチ氏より甚だしく攻擊を受けたるも羅馬東京間の長途飛行は飽く迄敢行すべしと言明せりと(倫敦電報)

巴氏大學總長説

英國外相バルフオア氏は政界より退隱し劍橋大學總長たるべしとの説あり(倫敦電報)

オ政府新紙幣發行

ケレンスキー時代米國に注文せる紙幣此程オムスク政府に到着せるより同政府は十月一日より現行紙幣を全廢し右新紙幣を之れに代ふるに到るべしと(東京特電)

王代表反對通告

南方派は政務會議を開きたる結果更に北京政府に對し王揖唐反對の旨通告せり(北京電報)

安福派反英運動

安福派は各督軍に通電し西藏問題に關し反英的民論喚起を鼓吹せり(北京電報)

鮑督軍協議内容

鮑吉林督軍は十八日陶吉長道尹を招き十九、二十日の兩日に亘り吉林商工所内に於て陶氏及郭省長等三名にて會議を催したるが其主なる内容は鮑督軍新任日尚淺くして吉長の日支關係詳かならざるより其の事情熟知せる郭陶の二氏を招致し吉長に於ける日支將來の交涉事務を協議したるものならんと又一説には張作霖氏より重要命令達したる爲めにて或は寬城子事件に關するものにあらずやと(長春特電)

勞働問題提案か

勞働者組合設立法規制定

政府は勞働問題解決法に就き我國情に鑑み所謂勞資協調主義に基き漸進主義を取り居れるが勞働組合に關しても目下調査研究中にて協調主義に準據し各國の如き勞働者組合設立を認むる法規を制定し以て資本家と勞働者との協調を圖らん意嚮にて來議會に是が提案を爲すべく鋭意立案中なりと(東京特電)

樞府委員會

對獨和條約樞府特別委員會第四回は二十二日午前十時より永田町事務局に開會清浦委員長以下各委員出席逐條審議し正午午餐を共にし午後會議續行四時過ぎ散會す(東京特電)

趙氏襲爵仰付

故子爵趙重應家督相續人從五位趙大鎬氏襲爵仰付らる(東京特電)

大庭師團長凱旋

大庭師團長以下の第三師團司令部は工兵第三大隊と共に十月五日宇品へ凱旋七日上京のことに

決定せりと(東京電報)

外調會廢止説

外交調査委員會は對獨講和條約批准後廢止せらるべしとの説あり(東京特電)

全國稻作良好

農商務省發表=全國稻作九月二日の景況は稍不良の部に屬すべき六縣の外何れも通常以上なり(東京特電)

國際聯盟開始期

米國に於ても條約批准を了すれば直に國際聯盟の第一回會議を招集する事となるべく……なるならんと推測せらるゝに由り列國の批准は遲く月中旬に……至るべし而して其批准後……諸問題例へばザール地區の如きものを略了し國際聯盟に提出すべき諸問題……始めて米國政府に於て聯盟會議を招集する運びに至るべきを以て……

交代部隊到著

寬城子守備隊の派遣に交代すべき獨立守備隊は二十二日午前寺中山口第五大隊長引率の下に大石橋より將校十名下士卒百五十九名輕鐵より將校四名下士卒四十八名來長したり(長春特電)

虎疫と生保

影響少なし

朝鮮に於ける生命保險の營業は過般來滿鮮各地に亘り虎疫流行の爲め保險會社の支拂增加し從て營業成績に多大の打擊を與へたるものあるべしと一般に想像さるゝ所なるも事實は之に反し其影響しかく甚だしからずとのことなるが其の理由とする所は今次の虎疫流行は鮮内より滿洲方面即ち奉天大連等に猖獗を極め尤も滿洲方面も多くは京城に於ける各種保險會社の所管區域なるも事虎疫によりて死亡せるものは衞生觀念に乏しき下層階級の勞働者に多く保險加入者の如きは相應に防法を講じ居り又朝鮮内に於ては衞生思想も乏しき鮮人に患者を出したるも多くは勞働者にして保險加入者は絶對に之なきもの、如く且一般鮮人は尚ほ保險加入者の數增進せざるものあり一方會社は各社とも必しも鮮人の保險加入を勸誘し居らざる等に在りて從つて本次虎疫流行の生命保險界に及せる影響は甚だ激甚ならざるもの如く昨年の世界的流行性感冒の影響に比し遙に輕微なるべしと謂ふ只だかくの如く流行病の續發は漸次鮮人に衞生觀念を涵養せしめ延いて鮮人方面に對する生命保險界活動の礎地を作るものなることは肯定さるべき事實なり

中樞院官長

青木部長兼任説

大塚常三郎氏内務局長に就任せる結果中樞院書記官長の空位を生じたるが其の後任に就しは未だ決定し居らざるも青木庶務部長兼任説有力なるが如し尚大塚氏は依然參事官を兼任する事となりたるが參事官は他に萩原與一の兩專任參事官あり增員等の事なしと

旱害救濟に就て

西村殖産局長談

旱害救濟調査會は創設以來數次開會審議したるが右は理論の問題に非ずして實際的の事なる爲め机上の材料のみに依り立案するを許さず、先づ第一に各災害地の實狀を調査し研究の基礎とする要あるため自分を始め事務官、技師、屬等部署を分ち地方に出張し實地に就て打合する事となり居れり元來此種の問題に就きては內地に於て實例ある事なれども朝鮮にては自ら事情を異にする者あるべく又斯の如き問題に處するの事例も多々あるべきを以て古來の慣例をも酌量し出來る丈け自營の方策に依り救濟せしめ度き考へなり自營の方策と言ふても地主小作人の關係もあり

地方有力者の救助法

もあるべく地方協力して自ら救濟するを要すべし例へば地主有力者をして小作人等に貸與給與を爲さしむる外災害の爲め勞働力に餘裕ある者には適當なる勞働の仕事を授け又冬季氷雪期には戸內の仕事即ち農家の副業を獎勵するも一法たるべし大抵十月十一月頃迄は食糧は差支なき狀況なりと言へば其の後に於て上記の方法に依り自ら救濟し能はざる者即ち全然食糧の不足し缺乏する者所謂鰥寡孤獨者に對しては物資を供給し救恤するの外なしと信ず今回實視したる狀況に依れば黃海平安南北道の如き災害地は概ね沿岸地方にして全然絶望の處もあり、抑合等の惡況の處もあり之が救濟には莫大の經費を要すべく實收の成績如何と地方救濟の情況に鑑み緩急處置せざるべからざる次第なり

殖銀二次拂込

殖産銀行の業務は依然活況を呈し其貸出高は八月末に於て勸業金融二千萬圓に垂んとし商業金融又二千八百萬圓に達するの狀況を示せるが尚ほ貸出の將來を考ふるときは朝鮮の經濟界は漸く夏枯の季節を經過して商業繁忙の時期に向ひ特に歳末出廻期を控へ居るのみならず同行の業務亦漸く多忙ならんとしつゝあり加之今回の旱害救濟に對する資金も亦同行主として其融通を

增資せん

とするの機運に向ひ又た僚友とも見るべき東拓が五千萬圓增資を決行せるより見るも更に朝鮮經濟界の前途並びに勸業資金の需要等無限に起り來らんとする形勢並びに同行業績の好調にして政府補助の如き必ずしも之れを要せざらしむ現狀より察すれば同行の增資も不急と見るべからず多くも明年に入りて第四回の拂込みを徵し來期の定時株主總會に增資を

殖産銀行增資乎

來春決定さるべき觀測

資金を提出し明春鮮銀と相前後して之れを決行するにあらざる乎唯その額の二千萬圓なるか三千萬圓なるかは豫知し難きも多分前者なるべしとの觀測有力なり尚ほ東京市場にては未だ增資

觀測薄弱

なりと見做されてゐる

殖産銀行にては來る十一月初旬第三回拂込二百萬圓(一株に付十圓)を徵し拂込額八百萬圓と爲する事となるが本月上旬一百十三圓まで騰して九十六圓七圓に下押したるが同行株の此の兩三日來

俄に硬調

を呈し殊に同行內部より出でたりと思惟さるゝ買物多く二十二日京城にて百零七圓の高値取引を見たるは前途增資の氣構へ濃厚となりしにはあらざる乎唯資金關係より云へば同行は拂込資本金十倍の債券發行力を有し尚其餘力は第三次拂込徵收後六千萬圓を有するにつき必ずしも增資を急ぐ必要なき如く又配當給として政府より毎期數萬圓の交付を受くるも增資實現は俄に來らざるべく觀測されど然も財界好況に增資を遂行し銀行の資力を擴大し置く必要は素よりの事又現銀行たる鮮銀が八千萬圓若くは一億圓に

常らざるべからざるべく從つて同行は今後益々資金の充實を圖りて此の財界の大勢に順應するの必要上近く第三回の株金拂込(一株に付十圓)を行ふべしと云ふ其期日は多分十一月四日頃なるべしと因に此の第三回株金拂込を了する時は同行の拂込資本金は八百萬圓に達すべしと

簡閱點呼視察

第二十師團下簡閱點呼は目下各地に於て執行中なるが軍司令部副官下澤中佐は二十三日木浦地方に又師團司令部高級副官伊木大佐は二十三日朝慶州浦項に於ける點呼狀況視察の爲め出張を命ぜられ師團勤務部上田大尉、有田中尉を帶びて十九日慶尚南北道方面に出發せり

京畿大豆檢查

八月中京畿道管內仁川、南大門、水原、烏山、東豆川、西氷庫、汶山浦、漣川に於ける各檢査所の大豆檢查總數は二萬九千七十六千百七十七叭にして中合格數二萬一二分にして不合格歩合は一割二分にして不合格の原因及び其數量は品質乾燥不良六百七十二叭夾雜物混入百三叭包裝不良四百四十叭容量不足二千三百六十五叭なりと

東拓米賣行

過般來木浦に於て賣り出し中なる東拓米は一等五十圓五十錢乃至五十一圓同三等四十九圓乃至四十九圓三十錢同釜山四十八圓內外仁川四十七圓二十錢乃至七十錢所にて一萬餘俵賣行き殘部六千俵に過ぎざるに至れりと

鮮滿片々

全州守備隊歸還

全州守備の第十三師團獨立大隊の一部は來る二十九日出發三十日裡里より汽車にて釜山に向ひ一日乘船歸團の筈である(全州)

洪原洪水被害

過般の大降雨の爲め洪原郡內の被りたる被害高は氾濫面積二千七百餘町歩中畓五十九町田八百餘町其他千九百餘町にて內農作被害面積は八百餘町畓三十五町である(咸興)

卅年來の洪水

鬱陵島に於ける洪水慘害は實に三十年來になき慘害にて去る十四日夜より降り出し十五日朝に至り各河川は著しく增水氾濫し內地人家屋四戸鮮人家屋二十一戸流失倒壞し鮮人十六名の溺死者を出した(大邱)

秋繭出初む

大連民政署管內飼育に係る秋繭は柳樹屯附近を最初として數日前より出初めたるが旱魃甚だしく桑の出來榮不良しあつた割合に成績順調で一貫目十一圓位に賣れ行きつゝあり關東廳蠶業試驗所の蠶種不足の爲め內地から取寄せ飼育したものは一部船中に於て孵化し遂に飼育に至らなかつたが他は目下上簇中で是又成績惡からず產繭は例年より少かるべきも概して成績は良好だと云ふ(大連)

彩票復活願

先年時の都督府の威嚇により廢止した大連彩票を復活せしめたいとの希望者ありとは兼ねて聞く所であるが今回右本邦大郎氏は大連市長の名を以て關東廳に再び發行の特許出願書を提出したが其內容の概略は支那人の組織に依りて慈善を目的とする一人者に限り之を特許し以前の如く頭彩は一萬圓であつたのを二萬圓とし以下八彩迄とし仕組方法等は總て以前に則るものであるが之に對する關東廳の許可如何は固より窺知し難い所で出願書類は目下財務課の手にあると云ふ

服制廢止と特令

關東廳は朝鮮總督府の例に倣ひ卅九年勅令にて定めた職員の服制廢止の議は目下政府に稟請中であるが其內容は全然之を廢止せんとするものではなく大禮服又は通常禮服を用ゐる場合に於ては從來の服制を用ふる事差支なきものとし又土地調查部の如き人に接する職員にありては之を用ふる事を得と云ふ如き特別の制令を發するであらう(大連)

出張命令

今回左の通り出張命令ありたり

龍山中學校長 福島亦八

東京都商郡群馬長野三縣へ出張を命す(發定十二日)

總督府技師 兀田玄

長崎へ出張を命す(發定十日)

潛水艦と釜山

觀覽者は四百五十名……二十二日三日間を通計して六百一名に過ぎざるを以て十九日午後……べし(釜山)

……防疫の爲め一週間の豫定を以て……出張したり(釜山)

驅逐艦汽罐破裂

機關兵七名の大火傷

第一水雷戰隊所屬驅逐艦二隻の艦は十八日夜八時十分驅逐艦に出動し雷戰發射演習中突然汽罐に大音響と共に破裂し蒸氣噴出して其附近に居たる鳥取縣出身一等機關兵村田武雄外六名大火傷を負ひ村田機關兵は即死したるより艦長は兵の屍體は棺に收め此の旨司令官中島少將に報告し司令官指揮下の現場に駈けつけ重輕傷者には夫々手當を施すと共に村田機關兵の遺骸は遺族に引渡され葬儀(吳電報)

委員任免

十五日附左の如く辭令ありたり

總督府政務總監 水野錬太郎
同 庶務部長 青木戒三
同 秘書官 守屋榮夫
朝鮮貴族に關する審查委員を命す
總督府參事官 大塚常三郎
同 秘書官 守屋榮夫
李王職職員懲戒委員を命す
總督府學務局長 柴田善三郎
同 庶務部長 青木戒三
同 秘書官 守屋榮夫
普通懲戒委員を命す
總督府事務官 田中卯三
普通懲戒委員を免す
總督府學務局長 柴田善三郎
社司社寺試驗委員長を命す
總督府事務官 弓削幸太郎
同 秘書官 守屋榮夫
小學校及普通學校教員試驗委員を命す
總督府事務官 澤田豐丈
社司社寺試驗委員を命す

京畿警部新配置

京畿道管內に於ける內地より新採用警部並に警部補配置左の如し

▲京畿道第三部 警部石川利助、警部補神崎松次、安藤正、萱野方造、山根兼藏、都谷森朝術、粟田清造
▲本町警察署 警部補倉澤誠、戸的野八郎次、平山正則、安藤淑郎
▲鍾路警察署 警部補原長五郎、齋藤熊一、小泉卯太郎、寶崎澤熊朝
▲龍山警察署 警部補山口昌
戸倉重
高陽郡警察署 同 櫻井武吉
驪州郡警察署 同 渡邊新作
加平郡警察署 同 鈴木寅之次
楊平郡警察署 同 牧田政雄
利川郡警察署 同 福田榮三郎
龍仁郡警察署 同 原野七右衛門
坡州郡警察署 同 江藤佐太郎
開城郡警察署 同 安達直治

軍醫分團研究會

廿三日午後一時半より龍山衞戍病院に於て軍醫分團研究會を開催すべく當日の演題講演者は左の如し

隊長の梅毒樣に就て(小澤軍醫) 幼年學校生徒の發育狀態に就て(中山軍醫) 寄生蟲病に就て(倉田軍醫) 演題未定(有働軍醫) 朝鮮の氣候と兵員保有に就て(茂木軍醫) 演題未定(宮崎軍醫) 加答兒性黃疸に就て(望井軍醫) 除兵の姿勢檢査成績に就て(鈴木軍醫) 職業と體格(永富軍醫)

人事消息

▲矢野久三郎氏(新義州營林署長) 廿一日入城南尾へ
▲水谷千萬吉氏(平壤鑛業所長) 廿二日入城同上
▲堀井生治氏(鮮銀大阪支店長) 一日入城京城ホテルへ
▲武安福男氏(鮮銀神戶支店長) 一日入城同上
▲田中舍身氏 二十一日午後七時四十分著釜大池旅館に投宿二十二日午後一時より知恩院に於ける講演會にて蒙古旅行談を爲し午後五時より南濱小倉庵の招待會に臨みたり(釜山特電)
▲小坂新夫氏(朝鮮新聞記者) 今回報知新聞に入社二十五日朝京城發東上の筈

枕石道人和云 中樞制度本條

宏。闊傲空文亦酷評。淵默十年栗山鼠。何圖這裡起雷聲。

良策

秋。寺伴登山夕照稠。滿城士女嬉來。古來參天盛氣。松陰處々。

荒肥莊尊。國師堂呼綺儷。

……南山風物入新。古來參天盛氣。十女爭求良策。

時事口占 餓依別

縲絏輪

歳月如梭政未新。炊煙不見見秋風。昨夜秋風蕭殺到。廟堂君子…

鳥瞰鏡

▲陸軍三太郎の一人として宇都宮軍司令官と並稱せられ其の銳敏なる頭腦と鋭利の如き手腕とを以て其の將來を期待せられて居た仙波將軍も部下の建言を容れる雅量が無い計りに師團長としての……

商業登記公告

鮮燐寸株式會社變更 七圓五十錢宛拂込ミタル株金額ヲ…… 大正八年九月拾九日登記 京城地方法院 仁川支廳

御見送を奉深謝候 神戸修三 同家族一同

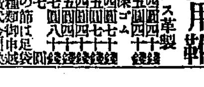
木材防腐防虫劑 専賣特許 クームヒン

山林果樹園藝用驅虫劑 専賣特許 シーエス液

消毒防臭防虫劑 特製クームヒン

製造販賣 京城旭町二丁目 山田禎輔 電話四一〇七八番 振替京城三豐九六番

丈夫で安い實用靴



ボックス革製 紳士用 ……
深ゴム …… 半長靴 ……
乘馬用 …… 本長靴 ……
御注文の節は足型御送り下さい

陸軍御用 東京牛込若松町六〇 ツブク靴店 振替東京四一八八四番

▲債券▼

關東都督府認可 公債債券月賦販賣
大連市西通二丁目二十二號地 大連債券株式會社 電話長一五二四番 振替大連一三〇〇番
勸業債券高價買入 營業案內無代進呈

京日案內

普通七十錢 番外一回前金二十錢 ▲申込後中途掲載中止は料金不返戻 ▲六回以上の申込は特に割引の事 ▲照會は返信附に非ざれば回答せず

寫眞見習生入用 龍山驛前 獨立軒寫眞館

古本熱心高價買入 ▲御報參上 ▲是非御試買を乞ふ ▲本町二丁目 群書堂 電話三一九五番

記者採用 希望者は履歴書携帶本人來談あれ 黃金町二丁目 京城新聞社

求貸家 京城及龍山附近に住宅向き大至急左記へ 工場及事務所向並 天眞樓內鈴木

英語通譯を得度し希望者は委細內地外國商會社へ 京城大平通 ソウルプレス

年金恩給 長期低利即日融通 金融局許可 京城永樂町二 西本願寺表門下角 江州屋本店

サイダー製造機械 附屬品一式付 製造能力一日七千本 右至急賣却す希望者申込マレ度 (姓名在社) 壹臺

田舍行 貨物牛馬車船積運搬責任確實迅速取扱御用命願候 京城南大門內 電話一一二八番 酒井運送店

▼コレラ豫防に

朝鮮總督府衞生課及京城本町警察署衞生課より數萬の御買上を賜りたる効力偉大なる

衞生無害

京城大特約店 新井大藥房、山岸大藥房 木村大藥房、淺野大藥房

東洋賣藥會社製造販賣部 京城本町四丁目電車終點 川浪濟生堂藥局 電話一三五八番・振替京城四〇〇〇番

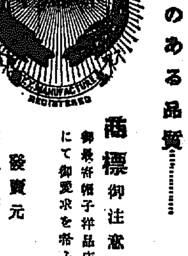
▲御自他の爲め此手を逸せず御使用あれ
▲僞物あり商標と製造所に御注意を乞ふ
▲各地藥店雜貨店にあり品切の際は本舗又は左記大特約店に御注文を乞ふ
▲御試用分入用の方は拾五錢切手封入御申越次第送呈す

秋の爽快を象徵する

日ノ出向鳥印の秋の帽子

氣の利いた新型 信用のある品質

登錄商標



商標御注意 御最寄帽子洋品店にて御要求を希ふ

發賣元 東京 吉安商店

皮革値上廣告

皮革類は去る六月頃より歐米各國共に續騰を重ね居るのみならず或物は當分値段に不拘注文引受難き旨申來り候殊に『キツト及底革』の如きは神戸橫濱の『保税品』は大部分『逆輸出』致候樣の狀況にて歐米の値段は『五割乃至七八割』の昻騰に有之候幸ひ弊店は在來の手持品潤澤なりしと西伯利方面の輸出杜絶とに依り最近迄殆ど影響を認めざりしも愈々需用期に向ひ供給難を報ずるに隨ひ

キツト類 參割
底革類 貳割
ボクス類 貳割

値上げ實行の已むを得ざる次第に御座候併し未だ本國値段に比すれば平均貳割以上の廉價に御座候へば今後大需用期に至らざる以前に充分御獲得被下度此段廣告旁々御願申上候 敬具

京城南大門通壹丁目 北村皮革直輸入店 長電話七番

次に弊店儀是迄電話一八四六番に有之候處今回七番電話を新設致し舊設を廢止する事に相成候間爾來北村皮革直輸入店は七番と御記憶被下度此段御披露申上候

避暑地投票一等當選地

儒城温泉より (1)

爆彈騒ぎで紹介が延びく　この便りを書く理由？

寺田斗鹽

社會部長足下　南大門驛頭の爆裂彈騒ぎがあつてから、モウ三週間になります。即ち新總督一行の朝鮮入りがあつてから三週間經つたわけです。我々新聞記者こしては新總督の一行を迎へるだけでも可成り神經を尖らせて居たのですが爆彈事件の突發によつて更に昂奮を強られました。アノ兇變があつた時、私なども

現場に居て 膽つ玉が縮み上るほど驚かされましたから、其當時は憤慨もし興奮もしたのですが、今日ではモウ張合抜けがして了ひました。ところが恰度本紙で發表されてあつた朝鮮の理想的避暑地投票の結果が未だ何等の説明を加へられずにあつたのを幸ひに儒城温泉に出掛ける段取りになりました。併し本紙が避暑地投票を締切つたのは先月の二十五日で、其の結果を發表したのは同三十日でしたから最早や

三週間餘り の日が經つた譯です。當選の順位は儒城温泉、海雲台、馬山の順で、其外に釋王寺、永安堡温泉、温陽温泉の順で發表され、同時に右當選各地に記者を派して紹介の勞を執ると云ふことが附記されてありました。そこで早速當選地に出掛けやうこ思つて居るところに總督の入鮮入りがあり加之爆彈騒ぎこ云ふ始末です。避暑地紹介などは一寸押さへて置い爆彈犯人が今日は擧がるか、明日は捕るかこ待ち構へて居る中に、事件は

迷宮に入る など云ふ噂があつたりして結局今日迄待ち呆けを食つた體です。待ち呆けを食つたのは可いとして此頃ではモウ秋冷相催すの候となり、避暑地便り等は可成り遅蒔きと云ふ始末。それでも一旦紙上を以て約束した事ですから當選各地紹介の義務がありますから此の便りを書くことに致しました。私の受持ちは一等當選の儒城温泉ですが儒城と云ふ名前は本紙の投票によつて

始て知つた 位ですから元より何等の豫備智識もありません、獨り私のみならず多くの讀者は儒城の名を知らなかつたでありませう、況んや未知に等しい儒城が全鮮避暑地の投票に一等の榮冠を得やうとは誰にも豫期しなかつたでありませう。

第二十師團の東宮殿下御尊影奉戴　(右)御尊影を捧持せる山本參謀(左)淨法寺師團長以下の御出迎へ、左端は師團長なり

今日ご榮ある 祝賀式

京中の十週年記念　展覧會も有る

京城中學校では廿二日午後二時より同校創立十週年祝賀式を擧行した、此日校舍の内外は清掃され正門口は大國旗金風に飜へる、今日の式場たる講堂は幔幕を張られ

大花瓶 には香りの高い草花が盛られてあるなど總ての準備遺憾なし、定刻職員生徒一同式場に參列するや柴田學務局長、城覆審法院長以下多數の來賓柴崎校長の先導で式場に入る、嚴かな一同の君が代二唱に始りフロック姿の柴崎校長は創立以來十年間の同校歴史並に現状の報告を試み柴田學務局長齋藤總督代理こして告辭を朗讀する次いで大垣丈夫氏民側を代表して一場の祝辭演説を試み第一回卒業の東氏及び在校生總代又夫氏々々祝辭を述べ各地よりの祝電披露が濟むこ柴崎校長答辭を述べ終いて開校當時より十年一日の如く勤續した教諭日吉守氏の爲に同校職員並に校友會の

表彰式 がある、斯くて午後三時三十分式全く終り更に引續いて生徒成績品展覧會が開かれ來賓一同柴崎校長の案内で各教室に陳列された成績品を一覧した、種んな見もの〻中素人目にも面白かつたのは理化學室に於ける生徒の實驗で殊にエキス線、眞空放電等の實驗はみんな興味の深いものであつた、運動場では四五年生の中隊教練、一二三學年生の徒手體操、劍道紅白試合等が行はれて多數の來賓を歡ばせた、是等が終つたのは午後五時半。猶二十三日は午前九時より午後四時迄二十四日は午前九時より午後三時迄展覧會を公開する由

陸軍飛行機墜落す

操縦者松岡中尉は重傷　同乘者松原中尉は即死

所澤にて練習中の椿事

二十二日午前七時所澤にて陸軍飛行學校教官松岡中尉は松原中尉等を同乘せしめ飛行練習中墜落し松原中尉は即死し松岡中尉は重傷にて危篤（東京特電）

屍體がごん〻流れて來る

コレラのお蔭で商賈は上つたり　見るも怖ろしい鴨緑江　俄に寂れ果てた大市場

社用を帶びて入城せる新義州電氣株式會社長松隈哲次氏は語る『國境方面の虎疫は近頃大分下火になつたが未だく容易に終熄と云譯には行かない、國境檢疫狀態は至極良好であるが間々

保菌者が 發見されるので決して安心する事は出來ぬ、困るのは鮮人社會が虎疫を怖れる割に衞生思想に乏しいことで屍體の始末患者の取扱に就ても齒痒いことが少くない、第一に鮮人の良くない習慣は何か物事に恐怖を感じると夫を防遏すると云ふ氣概なく、身を以て逃避する……逃げて了へば宜からうこいふ

極く固陋 な風習がある事で、今度の虎疫の如きも其爲めに何れ程傳播力を強大にしたか知れない、國境方面では唯それだけに止まらず經濟上にも非常な打撃を受けた。鴨緑江の上流に北下屯俗に中の島と呼ぶ土地があるが此處は

國境物資 の集散地こして木材、豆類、柞蠶、塩鰛其他日用雜貨品の取引高は年額數千萬圓の多額に上る大市場であるが虎疫を恐れて其取引商人全部間島筋から小者に至る迄の鮮人が皆逃去つて了つたので左しも殷賑を極めた市場も寂れ果て、商業は

全く杜絶 して了つた、結氷期も近づかうこいふ今日此狀態だから其影響もなか〱大きい、然し一面から見れば夫れも無理こは思へぬ理由もある、過日惠山鎭附近を筏で通つた知人の談話に、鴨緑江流域の波に揺られて流れ行く流木こも見らぬ異様な物體を見かけたので熟視すると夫れは

慘鼻を極 めた屍體であつた計へて見ると忽ちの間に七十幾個の數に達したので思はず戰慄ひを感じたこの事であつたが之では臆病な鮮支人の逃去るのも即で北鴨緑江の流水が經…

腺ペストと 決定す

北滿の鼠疫　滿洲方面の警戒

北滿洲マチエフスカヤに於て最近發生せるペストは眞正の腺ペストに確定したり去る明治四十三年南北滿洲に猖獗を極め多大の人命を奪ひたる肺ペストの初發患者は滿洲里にしてタルバカンを經したる七人より傳播したる者なれば今回の發生地たるマチエフスカヤもペストの策源地滿洲里を離る、西隣僅に五里の地點なるを以て滿洲當局者は往年の如く多大の悲慘事を繰返すが如き事ありては一大事なりこ目下各方面に對し嚴重に警戒すべき旨訓令を發し豫防に努め居れり猶地方に隱れたる患者もあるもの〻如く露國官憲に於ても目下嚴重取調中なりこ

簡閲點呼の 總勘定

内地に比し無届不參者が割合に多かつた

京城龍山を中心させる附近の簡閲點呼は去る十五日より龍山歩兵第七十九聯隊營庭に於て執行され二十一日を以て全く終了したるが今其の成績を聞くに概して良好なりしも無届不參者が内地に比し多かりしは極めて遺憾なる點なり點呼に參會すべき總員は計二千九百九十九名にして、參會したる總員は千九百五名に達し參會せざる總員は九十四名あり、之にして是れを内譯すれば疾病其の他事故者六十三名令狀を交付し得ざりし者十一名令狀を受けし後轉居し所在不明の者二十名あり無届けの不參者は近く嚴重所罰さるべく令狀を交付し得ざりし者は居所不明にて轉居人も定めず區町村長に於て萬有捜索手段を取りたるも居所不明なりしもの也是等も近く處罰さるべくなほ遅刻參會者七十四名を出したるは遺憾こする所なりこ當事者は語れり

腕の力ご足の力　(右)京中十週年祝賀式の餘興　(左)善隣商業のマラソン

全鮮の虎疫 二千七百餘

二十日現在警務局調査に依れば全鮮の虎疫患者は昨年以來計二千七百八十五名を算し内千五百十二名の死亡者を出したるを各道別に見る時は京畿發生九十三名死亡六十四名北忠北發生千五十七名死亡五百二十五名平南發生三百五十九名死亡百十九名黄海發生二百二十三名死亡七十三名慶南發生十六名死亡三十一名慶北發生八十七名死亡三十一名江原發生二十七名死亡十一名咸南發生七十四名死亡二十三名なり

控訴判決

光復會事件

光復會事件こして知られたる十三名の控訴公判は二十二日午後四時より覆審法院刑事部第七號法廷に於て開廷左の通り判決言渡しありたり

死刑　朴尚鎭(原判決死刑)▲蔡基中(同上)▲金鍾(同上)林世圭(同上)金泰(同上)
懲役十年　庾昌淳(原死刑)
同七年　張斗煥(同上)金在勁(原七年)
同三年　孫基瓚(答九十)金在豐(原九十)
同一年　尹昌夏(同九十)
無罪　構成旭(原無罪)▲成文永(同上)▲趙鍾瀚(同上)▲柳重雨(同上)▲成達永(同上)▲鄭雲淇(同上)

京劇創立總會

重役十二名決定す

九月廿二日午後二時より府座に於て京城劇場創立總會を開催創立委員長古城管堂の報告ありて後引續き同氏を座長に推し諸種の案件を議了せるが重役左の如し(取締役)古城管堂、村上幸藏、釘本藤次郎、尾崎末太郎、矢澤近次郎、佐野彦藏、小川勝平、池田長兵衛、權木卯之助、關繁太郎、(監査役)三田爲次郎、姫野總

困つた小娘ご 親不孝な大工

丸ぽちやの當世風美人の爲め若い衆よりちやほや云れたのに逆上り此草深き田舎に一生を埋もれては馬鹿々々しいこ小娘の癖に野心を起し本年六月渡鮮龍山漢江通飲食店三日月に酌婦こして棲み込み漸く自分の望みを達したこ喜んでゐる折柄可愛い娘の一大事こ遙々大分縣より親父渡鮮し歸國を勸めるこ三日月に借金があるから拂つて下さいこ親爺を歸し直其の後に又姿を晦まし困つた小娘は大分縣生和四郎長女吉田こさ(一八)で▲數年前より龍山漢江通十一番地今田方に棲み込み大工職を營み三年前より老父が病氣だから歸國を命ぜられても手紙一本出さず此程も老父愈々危篤、臨終に生前可愛い倅に一目逢ひ度いから歸るやうに說諭して貰ひたいこ村總代から龍山警察署に訴へ出で說諭された親不孝者は是も同じく大分縣生れの當次郎次男田中春吉(二七)

拐帶犯人逮捕

二十日夕刊所載八千圓拐帶逃走犯人全羅北道井邑畜產組合雇員尹某(二三)は約一週間前江原道淮陽警察署の手に逮捕されたるが取調べの結果犯人は七千圓を拐帶せる者にして中百餘圓を消費し懷中に六千九百圓殘り居りしなり

各學校始業振

最近學務當局の調査に依るこ鮮人側各學校中八月末に開校したのは朝鮮學校が廿日貞信、槿花が廿八日で善隣商業、中央、普成、徽文、明、進明、養正、中央の各學校は何れも九月一日に開校し敬新、中東、同德青年會の各校は十一日、培材が十四日普成、佛教の二校が廿日で崇士は廿五日に開校する事になつて居る、研精こ國語普及の二校は目下校舍新築中で休業の由

洋畫展覧會を觀て (下)

▼第二室は所謂新らしい滿も五六點あるが動かされるやうな作品は見當らない。強いて數ふれば長尾良太郎氏の靜物、本多星苗氏の水彩『雨後の變電所』大庭柔太郎氏の『夕陽』(水彩)等が傑れて居るこも云へやう▼第三室では石田富造氏の『ひなげし』(油)『夏のなわり』(水彩)こ高木背水氏の『仁川港』及び日吉守氏の『風景』(水彩)が傑出して居る。石田氏の作品は其筆觸の柔かみから受ける感じと印象の鮮かさに於て傑れ、高木氏の作、仁川港は小さいけれど場内で一番光つた作品であらう。殊に從來の作品に比べてずつこ新味を加へたのが眼に附く。▼日吉氏の水彩は例に依つてその色彩、その筆觸共に渾然たる柔らかみを表現し得て居る。佳い繪である。其他大作では川井建吉氏の『鳳園の夏』、高木氏の『金剛山玉女峰』等があり、女流としては高木夫人及び千葉あや子氏の出品がある。

鐘路の小火

二十一日午後六時十分頃鐘路四丁目一六七番地尹錫永方の屋突より發火し燃上がりたるが急報に接した黄金町及び南大門より消防隊駈付け活動したるに依り大事に至らず同家の一部を燒却して六時四十分頃鎭火したり原因は温突焚口の火勢激しかりし爲め藁屋根に延燒したるものなりこ損害は僅少の見込

傳染病

府内昌信洞二七六番地彭氏(二六)は二十日赤痢にて東大門婦人病院へ▲西小門町四五番地馬方横田うめ(二〇)は二十日赤痢にて順化院へ▲蓬萊町二九番地松田さみ子(八)は二十一日腸チブスにて總督府醫院へ▲黄金町一丁目六七番地植村幸吉(二九)は廿一日赤痢にて中島病院へ收容されたり

◎妙心寺彼岸會　長沙洞妙心寺にては廿四日午前十時より大施餓鬼を行ふ參拜者に午齋の饗應あ

運動頭

五哩を 一氣に

善隣商業の マラソン

龍山の善隣商業學校では豫定の通り廿二日午後一時より全校健兒の一マラソン競爭を擧行した、午後一時生徒一同は同校講堂に於いて競走に對する懇切なる注意を受けて出發點たる龍山舊練兵場に向つた、[illegible]百餘名の健兒は[illegible]先づスタートを切り漢江通を經て[illegible]五哩の距離を[illegible]勇姿に觀衆は[illegible]二歲の少年すら大元氣で無事五哩を踏破し得たのは快烈でもあり亦心強くもあつた。

織元＝丸登會社の特賣

全鮮唯一の織物大產地足利の丸登織物會社は從來產地より直接販賣を以て世に知られ居りしが本年冬織物は同社一流の策法を以て最も原料の安き際に織出し最も開始せる多數の織物を今回殿きた高價なる品に比し確に二三割以上安い◎比較上非常に有利である各家庭の實地御試驗あれ

▲京都羽二重 三圓卅錢 ▲貴用丸登銘仙 七圓十錢 ▲珍柄銘仙 五圓三十錢 ▲特製大縞銘仙 二圓六十錢 ▲實用縮緬兵兒帶 六圓五十錢 ▲金紗縮緬兵兒帶 ▲特製中縮緬 ▲珍柄二重女帶 四圓卅錢 ▲紋織羽二重角帶 四圓五十錢 ▲羽二重男羽織 四圓三十錢 ▲特製博多帶地 ▲羽二重多友染 八圓五十錢 ▲絹セル單衣裏地 ▲御召セル袴地 四圓廿錢 ▲平和御召 六圓五十錢 ▲東華御召 八圓 ▲流行珍柄紬大島 ▲同特製本絲大島 九圓向十二 ▲純絹紬 女向 ▲特別製品 ▲高級織物 一圓七十錢 ▲御注文は端書にて ▲詐入の上御一報を以て男女別年齡選定の上引換便にて御送致します

栃木縣足利町　振替東京三二五二七　丸登足利織物會社

冬衣は今買へば三割以上安い

京城本町三丁目　岩見呉服店　電話二參三參番　商業銀行本町支店隣
わたたた類　蒲團縞　冬物全部荷揃　廿四日より大割引大賣出仕候

電話　本町二釘本商店　長電八五五番

競爭入札購買　朝鮮總督府汽船光濟丸　一水火夫帽子三十九個外十點　詳細九月廿二日本府官報ニ有リ

綿　フトン綿、中入綿、毛綿、原綿賣買　京城青葉町二　電話長一六五番　朝鮮製綿株式會社

テント シート製作販賣　△各種雨覆類　布ホース類▽　△麻布綿帆布　縫糸各種▽　△其他修理品は迅速叮嚀に取扱可申候▽　日本製麻會社 帝國製麻會社 製品販賣店　京城府龍山元町二丁目五二　電話一五一番　カナヘ商會　龍山シート製作所

最善の白米ご酒を得んには　自働唐箕附　特許專賣　ナショナル精米麥機　賜李王職御買上之光榮　臺上御嘉納　登錄商標 斯界第一　說明書無代進呈　發賣元　東京淺草區御蔵前町二〇　精工商店　特約販賣店　朝鮮釜山港琴平町(警察署前)　弘中商會　電話九三九番

仙臺大町　藤崎呉服店　通信販賣部　振替口座仙臺三〇八番

御正装用に！　本場仙臺平(金四拾參圓五拾錢より)　羽二重黑紋附(羽二重貳拾參圓參拾八圓迄)(斜子貳拾參圓貳拾六圓迄)　▲見本は御一報次第御送呈申上候

特許專賣　セメント瓦　京城府明治町一丁目五四番地　特許セメント瓦製造株式會社　電話長九三七番　御一報次第說明付カタログ進呈

開店披露　京城黄金町二丁目(松浦京城出張店跡)　藤谷洋家具店　電話一八八七番

促成栽培講習錄　年六回の收穫あり僅一坪からでも五十圓の利益ある最新實驗法教授ハガキにて申込めば見本速呈　東京澁谷町　大日本副業普及會

品質優良 耐久力絶大　最新形オーヴアシユース　カタログ送呈仕候　大阪西區靱北通一丁目　丸屋商店卸部

りん病 ばい毒　講合藥　有田

にせ物あり　有田ドラッグ

盛に賣れるとにせが出來るヨ　全國の都市に支店あり　有田ドラッグ　京城黄金町二丁目電車通　龍山練兵場前　釜山大廳町二丁目　元山本町三丁目　平壤櫻町十二番地　仁川宮町二丁目　大邱弓町停車場前　開城南本町一二八九　晉州大安洞　榮町　大連岩代町

みだれ咲き

第百五十四回　島山碧波作　森田久畵

葵香島の伏見殿花の家の女將お藤は、次郎吉の言葉を聴くと共に、早くも夫が彼の背後に佇む美八と知つた。

『叩き分けで稼ぎ度いと云ふやうでは他所稼ぎで居たことがあるんだね』

『へエ……』と、次郎吉は返辭を濁らした。

『然し夫は其の姉さんかね』

『左樣でございます、實は春花樓さんに口を利いて貰はうと思つたのですが、夫より直接お目に掛つてお願ひ申した方が判りが早いと思ひましたので、直に伺ひました』

『さうして何處で稼いで居たの次郎さん』

と、訊した女將のお藤は俄に氣が付いたらしく。

『兎に角見世先で斯んな話も出來無いから此方へお上りなさいさア姉さん遠慮をしないで此方へお上り』

『有難うございます』

心の裡で長い舌を出した親子は云はるゝ儘に奥へ通つた、すると長火鉢の前へ坐つた女將は澁茶を汲んで二人に勸めながら。

『叩き分けでは少し困るが七三位なら相談に乘つても宜いわ、然し今まで姉さんは何處に稼いで居たの？』

お蓮は恥かしさうに次郎吉の方へ面を向け。

『伯父さん、貴郎から委しくお女將さんに話て下さいな』

斯う云はれた次郎吉は大きく肯き。

『夫れでは俺から委しくお話をしますが、姉さんは以前横濱の港内で妾を取つて居たのですが山手の或る外國人に思はれて五六日前までお世話になつて居たのです』

『あら夫では却々凄い腕があるんだね』

女將のお藤は、夫と聽くと非常に乘り氣になつたやうであつた。

『處が少しの事から其の外國人と喧嘩をして出て來てしまつたのですが、何しろ自宅の親が金にしようと思つて居るのと、本人が呑氣な處で稼ぎ度いと云ふものですからお宅へ御相談に來たのですがどんなもので御座いませう』

『さうね、さうして此の姉さんには怖い兄いさんなどは附いて居ないだらうね』

怖い兄いさんよりも油斷ならぬ親が附いて居るのだ、が斯う質問を受けた次郎吉は右の手を振つて。

『夫は大丈夫です、俺が首と掛替への鞘を捺して受合ひます』

『ホヽヽ、次郎さんが鞘を捺して呉れたら間違ひは無いだらう』

冷笑を浅した女將は尚も言葉を重ね。

『さうして親御さんは？』

『實は俺が二階を借りて居る家の娘なんです』

『あら左樣なの、さうして無論前借がしたいのだらうが、幾ら位入るの？』

『實は旦那と別れしなに少しばかりですが手切れを取て來ましたから急にお金は要りません』

『おや左樣かい、夫では叩き分けでは相談が出來ないが、四六で稼ぐ氣なら、此土地の水に合ふかどうか二三日手傳つて見て御覽』

『さうですね』

お蓮は一寸考へて居たが。

『佐藤の伯父さん一寸……』

と、次郎吉を見世の方へ呼び出して行つたが、直に戻つて來た次郎吉は。

『お女將、本人は四六でも宜いから稼ぎ度いと云ひますが、さうしませう』

『さうかい、夫では樣子を見るから置いて行つたら宜いだらう』

どうやら女將にはお蓮が氣に入つたやうであつた。

玩具に就て世人の研究を望む（三）

北原延子

◎近頃教育玩具とか稱して種々なる新案玩具が驚はれてはあるが幼兒の智育及德育の自發的進歩を計る事には少しも考慮されて居ない樣である店頭に陳列されてある玩具を借りて來て一々評して見れば興深き事と思ふが毎日繁雜な生活をして居る者には殘念ながらそうした落付いた時を得られないが今代表的二三の例を揚げて見ると（イ）動かない自動車汽車電車（ロ）積木（ハ）農具等がある

◎これ等の玩具としての價値は何か曰く『大體の構造を示す爲』曰く『何々』實際只に大體の構造を示す爲丈なら都合の玩具にしては全く不必要のものとしなければならない電車や自動車は常に實見して居る處のもので決して珍らしいものではない而してこれ等不完全の玩具よりは彼等はより以上に實物の構造を獲得して居る汽車に於ては内面的の構造複雜なるが故に簡單の玩具には到底大體の構造だに現はす事は困難だと思ふまた之等の性質の最も特色にする處は自働する事であるに拘らず之等の玩具の多くは靜止せるものを製作して居るたまく～ブリキ等にて活動せるものを造られてはあるが幼兒には何の考慮的智識も何の精神も與へない只單に『此ネジを廻せば此車がまわる』と思はせるに止まつて居るそして機械的方面には僅に其ネジを廻す二本或は三本の指を使用し一方は車體を押へる指との勞力とを要するのである

入院隨意　玄到　藤井百太郎　鐵斎　濟生堂　本町三丁目

我等の俳句

○葬儀舍の人夫等の晝ぶり秋日　貝敏

工女ら一日の宵さる山々青し　金龜城

○爭論避け來つて大露飛ゆる

葉露が光る我子の智惠付く夜也　鳥堂

單衣重ね着たる話頭の鋭く

木穗光る朝の醜き女よ

子規忌十夜第一夜

日報歌壇

遣る瀬ない晩

春木しげる（京城）

×

何となく物憂いこつた
それは—
唯戀ぢやない戀ぢやない

×

—俺だつて童貞の頃が慕はしい
と荒んだ心が
けふも叫んだよ

×

其の頃の幼稚な心が思ひ出されて
つい又顔が
あからんで來る

×

白粉花のほろ／＼散る夕べ
お前を知つた
そうら—あの晩

×

南山に登つて見たよ—
今日は又あの頂上で
お前の方を眺めた

×

いくら伸び上つても
眺めて見ても
みんな無駄さ

×

—いやに想が募るばつかり
よくもかう
お前と似た人もあるものだ
近寄つて見れば—
違ふ悲しさ

×

一丸のことが氣になる
岐度今お前に抱かれて—
ほら微笑つてゐやう

×

貧しい俺達に
金紗づくめの一丸は不似合だ
けれど—可愛いたうない

×

お前がよく唄つて呉れた
—『秋の夜』—誰かが彈いてる
やる瀬ない晩

×

俺もつい口誦んで見た
—『秋の夜』—
雨垂れの音も涙ぐましい

×

妨やさお前の夢なとア見ませう
雨垂れよ
俺の眠りを護つてお呉れ

名刺　電話一七二一番　京城　太平堂　振京一三六七番

新刊紹介

○早稲田大學五大講義　早稲田大學に於ては戰後の新時代に處する資料として此の十月より政治經濟科、法律科、文學科、中學科、商業科の五大講義錄の内容に大刷新を加へて新學年を開始し獎學の一方法として學資金給與其他種々の特典を設け盛んに新入學者を募集しつゝありと

▲面白倶樂部（四の一三）諸大家の小說其他面白き讀物豐富にて趣味横溢（四十錢、東京本郷區駒込坂下町四八講談社）

▲婦人界（惱みと慰め號）婦人の惱みと慰安に關する趣味ある記事を掲げたる外家庭記事例により豐富（三十錢、東京京橋區疊町一東京社）

讀者の領分

▲岡本米一配達小僧さん△黄金町で財布を拾つて渡した消防隊の人と調べ黄金町消防詰所中部消防の今井と云ふ人です（一消防手）▲牛後三週間餘の洋種の犬の兒六疋愛犬家に分與致し度御希望の方に電話一三番へ御申越下されたし（旭町生）▲京日讀女の洗張仕立物等御依頼いたし『太平通二丁目三〇五佐々木』は『長谷川町五八後藤』『古市町滿鐵舍宅一の瀬』『本町二丁目二番地木村屋横矢野』▲十三日午後本町を一見紳士風の男四五人一列横隊に大道せましと談笑しながら歩いて居た私しは勿論自轉車上の人、警鈴をならすと後もむかず下り坂の事とてブレーギを掛けたが終に惰力を以てチヨツコン押した、すると一行中の二ツ星が友情以て捨て置くへからずさ、かんずつてか大醉を發して突激する事すこぶる急であつた場所柄とてたちまち彌次馬の黑だかり實に閉口頓首再拜した規則の結果たる二ツ星だからやたらに規則の大安賣なしたのでありますこんな矛盾したおさきまつくらな馬鹿が居るから市民が困るのであります（文明の大鳴）▲東山氏へ紙上祝句會投句は机上山を成して居ります發表は締切後早速始めます特選の選者は松田芳宙氏です（保）▲秋の景色が益々よくなりましたね山に河の畔に騎笻に親しむ人が大分ある樣ですね一つ貴社の主催で少年書畫展覽會でもやられては何うですか有益なる事でせう（好論生）▲何犬が狂犬病に罹りしときは如何なる兆候がありますか（同犬主）

將棋新手合（其五）

左香落
△釜山　園田（二段）
▲京城　佐藤八十一郎（初段）

圖は前號指了迄の局面

	九	八	七	六	五	四	三	二	一
一		桂						桂	香
二						金	王	角	
三		歩	歩	歩	金	歩		歩	
四							歩		歩
五		銀	歩	歩	銀	飛			
六					歩				
七		歩	桂	金	歩	歩	歩	歩	歩
八				飛		銀	玉		
九						金		桂	香

持駒（園田氏　角歩歩／佐藤氏　角香歩）

△六四歩▲五五飛△同歩▲五八銀△六五桂▲六四金△五三角（チ）▲三一銀△八二飛▲三三角△五七金（ヲ）▲四九銀ナル

＊溝呂木六段講評

△（チ）五三角なるは重し五三桂なる同金八二飛五二香八一飛なるにて後ちに四五桂打ちの含みを持て指す方頗る良し

△（ヲ）五七金は惡手なり此處四二角ナル同銀五三桂ナルと指す處ならん

小資本成功

するには最善の策と最良の手段を選ばなければならぬ此頃の物價が特に高い時一町村一名限りの特約店となれば日用百貨商品が原價で入られ忽ち大商人となれる案内及百貨表請求あれ　東京神田萬世橋際　日本通商株式會社

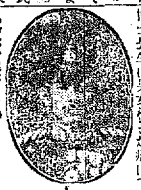
中風病きちがひ

余が家は祖父及び父と母の三人とも同病にて困難したる遺傳系統に付研究したる良き療法を得たり名士題字の證書券を郵送し千人を限り無代進呈す　兵庫明石中町　加古忠兵衛

新婚の夜　サツク

特價密送料共　男子ヶ夫　七十五錢　文成社

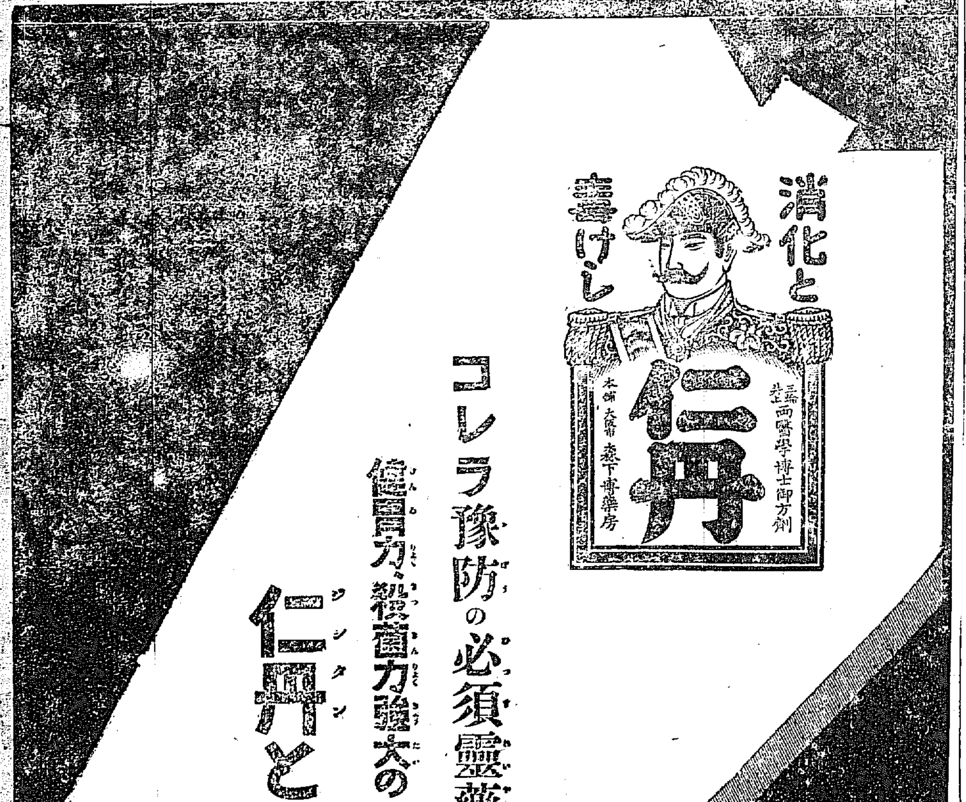
人から嫌われる　わきが　◎根本的なほせ



○不思議になほる　にきび　そばかす　ほくろ　いぼ　しみ

捨置は人から笑れる今なほせ醫學界に名声ある陸軍一等藥劑官尾博士先生が數年間苦心研究の結果決して害なく不思議にヨクキク特效藥を發見致しました是迄種々無責任な賣藥で治さずしても効無くお困りの人も彼此と迷はず一日も早く三錢切手封入『東京府大久保町西大久保五十一東京愛藥院』宛申込は確實安全秘術に治療の出來る自宅新療法の本を無代進呈

結核專門　古賀病院　九州線　田代驛ヨリ四丁　鳥栖



鉛筆輸出增加

出額僅かに四萬圓に過ぎざりし……さきは本邦品の海外に於ける……の弊害を改め以て戰後商戰の準備……立委員會商務省に會合し其の協……の効果を擧ぐる能はずと雖……

年　欠數量　金額
大正三年
四年
五年

……に於ては一萬七千餘哥の減少……防禦の陣を張り有ゆる困難を……